学校コード F116110105312 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 研究科の設置

注1



注2

富山大学大学院 総合医薬学研究科 総合医薬学専攻

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人富山大学 令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部 企画評価課

職名・氏名 事務職員 柳瀬 かおり

電話番号 076-445-6241

(夜間) 076-445-6241

e —mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

総合医薬学研究科

< 総	給合医薬学専攻>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 17
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 18
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 55
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 56

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 富山大学

- (2) 大 学 名 富山大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630番地 (〒930-8555 富山県富山市五福3190番地)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
	(フリガナ)	(フリガナ)	
理 事 長	氏 名	氏 名	
	(現職就任年月)	(現職就任年月)	
	(サイトウ シゲル)		
学 長	齋藤 滋		
	(平成31年4月)		
	(サカイ ヒデキ)	(セキネ ミチカズ)	
研究科長	酒井 秀紀	関根 道和	任期満了のため 令和5年4月1日(5)
	(令和4年4月)	(令和5年4月)	1,140 1
	(セキネ ミチカズ)	(マツヤ ユウジ)	
副研究科長	関根 道和	松谷 裕二	任期満了のため 令和5年4月1日(5)
	(令和4年4月)	(令和5年4月)	15 16 5 1 177 1 H (07

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例)令和4年度に報告済の内容 → (4)令和5年度に報告する内容 → (5)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - -<u>「大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載し</u> 別ファイルにて提出してください。
 - 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、

 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程
 - を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -(1) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	VM
総合医薬学研究科 総合医薬学専攻 修士(医科学) 修士(看護学) 修士(薬科学)	医学関係 保健衛生学関係 (看護学関係) 薬学関係	2 年	66 (うち、総合医薬学等なから 原薬程工学環の内教とする入 学定員 8人)		132 (うち、総合医薬学専攻から 医薬理工学環の内敷とする収 容定員 16人)	1	【基礎となる学部】 医学部 薬学部

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。

 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の 「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度		\mathbf{T}			Т	年度		12年度	+		3 年度	-	4 年度 ** * o 他 o 学 ##	令和5年 春季入学 その		平均入学定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備	考
A 入学定員)		人)]	(人	人)]	()	\]	, ([)]	(-	. 人 58 -) 干名]	人 58 (- [若干名	人) []						
志願者数	(]) ()	()	()	() ()	()	(47 (-)	2 (-) [0]	62 (-) ([2] [-)]					※本 人数(
受験者数	(]) (] [)	()	()	() (] [)	() []	([:	46 (-) [3]	2 (-) [0]	61 (-) ([2] [-)]	0.86倍	— 倍	0.85倍		医薬3	理工 への 分を
合格者数	(]) (] [)	([)	()	([) (] [)	() []	([:	45 (—) [3]	2 (-) [0]	[2][-)]					除いた 数でで る。	
B 入学者数	(]) ()	()	()	() (] [)	()	(41 (-) [3]	2 (-) [0]	57 (-) ([2] [-)]						
入学定員超過率 B/A												0	. 74	0. 98							

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 -) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、 (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。 $\underline{\mathbf{5}}$ を入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 - なお、「平均入学定員超過率」が1,00倍以下の場合や、1,00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。 なお、計算の際は $\underline{\text{小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入}}$ してください。また、完成年度を越えて 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成3	0年度	令和	元年度	令和	2年度	令和	3年度	令和	4 年度	令和!	5年度	,	備	考
学	#	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学	春季入年	学 その他の学賞	春季入学	その他の学賞	春季入学	その他の学期	春季入学				
										41	2	57		※本表の人数は、医薬理工	学環への抽	処出分を除いた人数である。
	1 年次		_						[]		[0]					
\vdash		()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	40	(-)			
	2年次	/		[]	ı [] [][]	[]	[]	[- :	[-]	[3]	[]			
				()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	()			
			/]										
	3年次			/][]	[]	[]	[]		[]	[]			
							<u> </u>		,	,	, ,	()	()			
	4 年次	/		/		,		[]	[]	[]	[]	[]	[]			
								()	()	()	()	()	()			
	=1	_	-	_		_	,	_	1		43		9			
	計	()	L ()	L ())		3]	[!				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。 (過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ [] 内には、留学生の状況について、内敷で記入してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ () 内には、留年者の状況について、内敷で記入してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(巻季入学)以外の学期の人を設けている場合) に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		24.VB.W400.4
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
月和九十人	^	^	令和元年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	Д	Д	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和4年度	43 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	1 人	0 人	就職(1人)
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和5年度	99 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
ロガロ〇千戌	33 人		令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<総合医薬学研究科 総合医薬学専攻>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

THE P		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
<u> </u>		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
大学	研究倫理	1(1)-1(3)	1			١.					4
院	科学技術と持続可能社会	1(2)	1	4		1					8
共	地域共生社会特論 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用	1(2)		1		3					1 3
通科	アート・デザイン思考	12.14		1		3					6
目	英語論文作成Ⅰ	1(1)-1(3)		1							2
	英語論文作成Ⅱ	12.14		1							2
	データサイエンス特論	1(1)-1(3)		1		1	1				6
	大学院生のためのキャリア形成	1(1)-1(3)		1							2
	知的財産法	12-14		1							3
	小計(10科目)	_	2	8	0	5	1	0	0	0	31
研究	総合医薬学	1①	1	١.		4	١.				
科	臨床研究の計画法	14		1		4	1				
共	解剖生理病態学序論 解剖生理病態学特論	1③ 1④		1		2	2	1	1		
通科	病態薬理学序論	13		1		1		'	3		
目	病態薬理学特論	1(4)		1		1			3		
	心身健康科学	1(1)		1		2			Ĭ		1
	日本語·日本文化	1-20206			2						1
L	小計(8科目)		1	6	2	14	3	1	4	0	2
先	【プログラム専門科目】										
端医	基礎臨床医科学概論	1①	1			7	6	3			
科	社会医学序論	1①	1			3	2				
学	社会医学特論	12	1			3	2				
プロ	生体防御医学序論	13		1		2	1				
グラ	生体防御医学特論	14		1		2	1				
ラ	分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論	1① 1②		1		2	3		1		
ム科	中枢神経遺伝子工学序論	1(1)		1		1	2		'		
目	細胞内シグナル伝達系序論	1(2)		1		1	2				
	中枢神経薬理学序論	13		1		2	1				
	臨床行動科学序論	1①		1		3	1	2			
	臨床行動科学特論	1②		1		3	1	2			
	病態検査医学序論	13		1			1				
	病態検査医学特論	14		1		2					
	感覚・運動・脳病態学序論	13		1		5	3	2			
	感覚・運動・脳病態学特論	14		1		5	3	2			
	東洋医学序論	13		1		1					
	東洋医学特論	14		1		3	2	1			
	高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論	13		1		4	1				
	救急蘇生学序論	1 4 1 1		1		6	1				
	救急蘇生学特論	1(2)		1			1				
	災害危機管理学序論	1①		1			1				
	災害危機管理学特論	12		1			1				
	先端医科学特別研究	1~2通	10	L		33	13	8	L		LI
	小計(25科目)		13	21	0	35	19	8	1	0	
看	【プログラム共通科目】										
護科	[A群共通科目]										
学	看護研究	1(1)(2)		2		1	3				
ブ	看護倫理	112		2		1					1
ロ グ	コンサルテーション論	134		2		1					
ラム	看護管理論	134 134		2		1	1				
노 타	看護教育論 看護理論	134		2		1	1				
科目	看護政策論 看護政策論	134		2		1	'				
-	小計(7科目)	_	0	14	0	5	5	0	0	0	1
	[B群共通科目]	П		Ė							\Box
	病態生理学	112		2		3	1				
	臨床薬理学	134		2		1	1				
	フィジカルアセスメント	1①		2			2				1
	臨床推論 I	1①		2		1					1
	救急看護演習	1①		1			2				1
	健康生活研究計画法	13	_	1	_	<u> </u>	1	^	_	_	
<u> </u>	小計(6科目)		0	10	0	4	5	0	0	0	2

【令和5年度】

£1 D		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
大学	研究倫理	1(1)-1(3)	1			١.					4
院	科学技術と持続可能社会	1(1)-1(3)	1			1					8
共	地域共生社会特論	12		1		_					1
通科	研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用	12		1		3					3
目	アート・デザイン思考			1							6
_	英語論文作成Ⅰ	1(1)-1(3)		1							2
	英語論文作成 Ⅱ データサイエンス特論	10-13		1		1	1				6
	大学院生のためのキャリア形成	10-13		1		l '	'				2
	知的財産法	12-14		1							3
	小計(10科目)		2	8	0	5	1	0	0	0	31
研	総合医薬学	1(1)	1	Ť	Ů	4	Ė	Ť	Ť	Ť	-
究	臨床研究の計画法	1(4)		1		4	1				
科共	解剖生理病態学序論	13		1		3	1				
共	解剖生理病態学特論	1(4)		1		2	2				
科	病態薬理学序論	1(1)		1		1			2		
目	病態薬理学特論	12		1		1			2		
	心身健康科学	1①		1		2					1
	日本語•日本文化	1-23(2(3)6)			2						1
	小計(8科目)		1	6	2	16	3	0	2	0	2
先	【プログラム専門科目】										
端	基礎臨床医科学概論	1①	1			7	5	2			
医科	社会医学序論	1①	1			3	1				
学	社会医学特論	12	1			3	1				
学プ	生体防御医学序論	13		1		2	2				
	生体防御医学特論	14		1		2	2				
グラ	分子ゲノム医科学序論	1①		1		2	3		1		
ム	分子ゲノム医科学特論	1②		1		2	3		1		
科	中枢神経遺伝子工学序論(未開講)	1①		1		1	2				
目	細胞内シグナル伝達系序論	12		1		1	2				
	中枢神経薬理学序論	13		1		2	1				
	臨床行動科学序論	1①		1		3	1	1			
	臨床行動科学特論	12		1		3	1	1			
	病態検査医学序論	13		1			1				
	病態検査医学特論	14		1		2		1			
	感覚・運動・脳病態学序論	13		1		5	3	2			
	感覚・運動・脳病態学特論	14		1		5	3	2			
	東洋医学序論	13		1		1					
	東洋医学特論	14		1		3	2	1			
	高度先進医療実践学序論	13		1		6	1				
	高度先進医療実践学特論	14		1		9	1				
	救急蘇生学序論	1①		1		1					
	救急蘇生学特論	12		1		1					
	災害危機管理学序論	1①		1		1					
	災害危機管理学特論	12		1		1					
	先端医科学特別研究	1~2通	10			42	24	10	19	Ш	L
	小計(25科目)	_	13	21	0	42	24	10	19	0	
看護	【プログラム共通科目】										
科	[A群共通科目]					L					
: 学 プ	看護研究	112		2		1	3				
ブ	看護倫理	112		2		1					1
ログ	コンサルテーション論	134		2		1					
ラ	看護管理論	134		2		1	1				
ム	看護教育論	134		2		1	1				
科	看護理論	134		2		1	1				
目	看護政策論	134	_	2	_	1	_	_	_		-
I	小計(7科目)	ᆫ	0	14	0	5	5	0	0	0	1
I				1	l	١.					
I	[B群共通科目]			_							
П	[B群共通科目] 病態生理学	1112		2		3	1				
I	[B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学	134		2		1	1				١.
I	[B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学 フィジカルアセスメント	134 11		2 2			1 2				1
I	[B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学 フィジカルアセスメント 臨床推論 I	134 11 11		2 2 2			1 2 1				
1	[B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学 フィジカルアセスメント	134 11		2 2			1 2				1

		配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教]員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
Ļ		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
看護	【研究者コース】										
科	[看護ケアサイエンス学] 看護ケアサイエンス学特論 I	1(1)(2)		,		4	4				
学プ	看護ケアサイエンス学特論Ⅱ	112		2		1	4				
	看護ケアサイエンス学演習 I	134		4		4	4				
グェ	看護ケアサイエンス学演習 Ⅱ	134		4		1					
ラム	看護ケアサイエンス学特別研究	2通		8		6					
科	成人看護学特論	1(1)(2)		2		2					
目	小計(6科目) [母子看護学]	\vdash	0	22	0	6	4	0	0	0	
	日本十年後子」 母性看護学特論 I	1(1)(2)		2		1	2				
	母性看護学特論Ⅱ	1(1)(2)		2		1	3				
	小児看護学特論 I	1(1)(2)		2		1	1				
	小児看護学特論Ⅱ	134		2			1				
	母子看護学演習	1~2通		4		1	3				
	母子看護学特別研究	2通		8		1					
	小計(6科目)	_	0	20	0	1	3	0	0	0	
	[地域·老年看護学] 地域·老年看護学特論 I	1①②		2		1					
	地域·老年看護学特論 II	1通		2		l '	1				
	地域・老年看護学演習 [1通		4		1	'				
	地域・老年看護学演習Ⅱ	1通		4		1	1				
	地域・老年看護学特別研究	2通	L	8		1	L		L		L
	小計(5科目)		0	20	0	1	1	0	0	0	
	【CNSコース】										
	[がん看護学分野がん看護]										
	がん看護学特論Ⅰ(病態生理)			2		3	1				
	がん看護学特論 II (援助論) がん看護学特論III (援助論)	1①② 1①②		2		2					
	がん者接来検索官(診断~手術後までの患者のリハビリテーション)	1通		2		2	1				
	がん看護実践演習 E (薬物療法・放射維療法をうける患者のリハビリテーション)	1通		2		2	1				
	がん看護実践演習車(編和ケア・在宅療養中の息者のりハビリテーション)	1通		2		2	1				
	がん看護学実習 I	1億~2通		6		2	1				
	がん看護学実習Ⅱ	1④~2通		4		2	1				
	がん看護実践特別研究	1~2通		8		2					Ш
	小計(9科目)	_	0	30	0	3	1	0	0	0	Ш
	[母子看護学分野母性看護] 四性素護学性於四	1①②		,			,				
	母性看護学特論Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅰ	1①2		2		1	2				
	周産期看護実践演習Ⅱ	134		2		'	2				
	周産期看護実践演習Ⅲ	134		2		1	2				
	周産期看護実践演習Ⅳ	134		2		1	1				
	周産期看護実習 I	1~2通		4		1	2				
	周産期看護実習 Ⅱ	1~2通		4		1	2				
	周産期看護実習皿	1~2通	Ļ	2		1	3	_	<u> </u>		Ш
	小計(8科目) 【NPコース】	_	0	20	0	1	3	0	0	0	H
	【NPコース】 [NP基礎科目]										
	臨床推論Ⅱ	1②		2			2				
	フィジカルアセスメント特論	12		2			1				
	疾病•臨床病態概論	134		4		1					1
	アドバンスプラクティス基礎特論	1①		2		2	1				
	アドバンスプラクティス基礎実習Ⅰ	112		1		3					
	アドバンスプラクティス基礎実習Ⅱ	123		1		1					
	医療安全学	13	_	12	0	5	4	0	0	0	1
	小計(7科目) [NP専門科目]	\vdash	0	13	0	5	4	0	0	0	1
	LNP専门付日」 アドバンスプラクティス特論 I	1④~2通		6		1	2				
	アドバンスプラクティス特論Ⅱ	1億~2通		4		1	_				2
	アドバンスプラクティス特論Ⅲ	1億~2通		1		l .	3				
	アドバンスプラクティス演習Ⅰ	1億~2通		3		2	1				
	アドバンスプラクティス演習 I	1④~2通		1		1	1				2
	アドバンスプラクティス演習Ⅲ	1④~2通		1		1	1				
	アドバンスプラクティス実習 I	1億~2通		6		4	3				2
	アドバンスプラクティス実習 Ⅱ	1④~2通		3		3	3				2
	アドバンスプラクティス実習Ⅲ	1④~2通		1		1					
	アドバンスプラクティス総合実習			6		1					
	アドバンスプラクティス実践課題研究	234	Ļ	3		3	-	_	<u> </u>		H
	小計(11科目)	\vdash	0	35	0	6	7	0	0	0	4
										<u> </u>	

		配	È	单位数	ģ.	専	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
四刀		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼扫
看	【研究者コース】										
護 科	[看護ケアサイエンス学]										
学	看護ケアサイエンス学特論 I	112		2		4	4				
プロ	看護ケアサイエンス学特論 Ⅱ(未開講)	1(1)(2)		2		1					
ロ ゲ	看護ケアサイエンス学演習 I	134		4		4	4				
グラ	看護ケアサイエンス学演習Ⅱ	134		4		1					
$_{\perp}$	看護ケアサイエンス学特別研究 成人看護学特論(未開講)	2通 1①②		8		6	5				
科目	小計(6科目)	-	0	22	0	6	5	0	0	0	
_	[母子看護学]		_	22	Ů	-	•	-	-	-	
	母性看護学特論 I (未開講)	1(1)(2)		2		1	2				
	母性看護学特論 II (未開講)	112		2		1	3				
	小児看護学特論 [(未開講)	1(1)(2)		2		1	1				
	小児看護学特論Ⅱ	134		2			1				
	母子看護学演習(未開講)	1~2通		4		1	3				
	母子看護学特別研究	2通		8		1	3				Ш
	小計(6科目)	_	0	20	0	1	3	0	0	0	
	[地域・老年看護学]	100		0		,		4			
	地域・老年看護学特論 I (未開講) 地域・老年看護学特論 II (未開講)	1①② 1通		2		1	1	1			
	地域・老年有護学 (未開講) 地域・老年看護学演習 I (未開講)	1通		4		1	'	1			
	地域・老年看護学演習 I(未開講)	1通		4		'	1	, i			
	地域・老年看護学特別研究(未開講)	2通		8		1	1	1			
	小計(5科目)		0	20	0	1	1	1	0	0	П
	【CNSコース】										
	- [がん看護学分野がん看護]										
	がん看護学特論 I (病態生理)(未開講)	1(1)(2)		2		3	1				
	がん看護学特論 II (援助論)(未開講)	1(1)(2)		2		2					
	がん看護学特論Ⅲ(がんリハビリテーション看護論)(未開講)	1(1)(2)		2		2					
	が人看護実践演習 I (診断~手所後までの思者のリハビリテーション/大規模)	1通		2		2	2				
	が人帯護夫政済官を(集物療法・放射経療法を分ける患者のリハビリケーションリ 夫禁法	1通		2		2	2				
	が人を選集機会管工場をケア・在も参奏中のあるのりハビリナーシェン決権権	1通		2		2	2				
	がん看護学実習 I (未開講) がん看護学実習 II (未開講)	1億~2通		6 4		2	2				
	がん看護実践特別研究(未開講)	1~2通		8		2	2				
	小計(9科目)		0	30	0	3	2	0	0	0	Н
	[母子看護学分野母性看護]		Ť	-	Ť	_	_	_	_	Ť	П
	母性看護学特論Ⅲ(<mark>未開講</mark>)	1(1)(2)		2		1	2				
	周産期看護実践演習 I (未 <mark>開講</mark>)	1(1)(2)		2		1	2				
	周産期看護実践演習Ⅱ	134		2		1	2				
	周産期看護実践演習Ⅲ	134		2		1	2				
	周産期看護実践演習Ⅳ	134		2		1	1				
	周産期看護実習 I	1~2通		4		1	2				
	周産期看護実習Ⅱ	1~2通		4		1	2				
	周産期看護実習Ⅲ 小計(8科目)	1~2通	0	2	_	1	3	0	0	0	-
		\vdash	0	20	0	1	3	0	0	0	\vdash
	【NPコース】 [NP基礎科目]										
	臨床推論Ⅱ	12		2		1	2				
	フィジカルアセスメント特論			2		1	1				
	疾病 臨床病態概論	134		4		1					1
	アドバンスプラクティス基礎特論	1①		2		2	1				
	アドバンスプラクティス基礎実習[112		1		2	1				
	アドバンスプラクティス基礎実習 Ⅱ	123		1		1	1				
	医療安全学	13		1		1					Ш
	小計(7科目)	_	0	13	0	3	6	0	0	0	1
	[NP専門科目]										
	アドバンスプラクティス特論Ⅰ	1億~2通		6		2	1				
	アドバンスプラクティス特論Ⅱ	1④~2通		4		1					2
	アドバンスプラクティス特論Ⅲ	1④~2通		1		_	3				
	アドバンスプラクティス演習Ⅰ	1億~2通		3		2	1				
	アドバンスプラクティス演習Ⅱ	1億~2通		1		1	1				2
	アドバンスプラクティス演習Ⅲ	1億~2通		1		1	1				4
	アドバンスプラクティス実習 I アドバンスプラクティス実習 II	1億~2通		6		3	1				1 2
	アトハンスフラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス実習Ⅲ	1億~2通		3		5	1				2
	アドバンスノフグティス美省山 アドバンスプラクティス総合実習(未開講)			1 6		1	1				2
	アドハンスフラクティス総合実管(未開講) アドバンスプラクティス実践課題研究(未開講)	234		3		3	•				-
	小計(11科目)		0	35	0	8	4	0	0	0	3
	[NP特別科目]		Ť	50	v	_	7	Ü	-	Ŭ	
	プライマリ・ケア特論	14		2		1	1				2
	クリティカル・ケア特論	14		2		1	•				_
	小計(2科目)	_	0	4	0	2	1	0	0	0	2

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
_,,		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
基	【プログラム専門科目(序論)】										
礎	薬学経済序論	1①	1			4					1
薬学	分子化学序論	1(3)		1		1	1				
チプ	生物物理学序論	1(3)		1		3	4				
	薬理薬剤学序論	1(2)		1		6	ļ .				
グ	分子細胞生物学序論	1(1)		1		2	2				
ラ	応用天然物化学序論	1(3)				_	3				
<u></u>	応用和漢医薬学序論	13		1		3	2				
科目	小計(7科目)	13	1	6	0	17	11	0	0	0	1
П	(プログラム専門科目(特論)】	H	<u> </u>	0	U	- 17		U	U	U	H
		4.00									
	分子化学特論	14		1		1	1				
	分子設計学特論	14		1		1	1				
	生物物理学特論	14		1		3	4				
	薬理学特論	2①		1		3	2	1			
	薬物動態学特論	2①		1		4					
	分子生理学特論	1③		1		1	1				
	遺伝子応用分析学特論	2②		1		2	3				
	分子細胞生物学特論	22		1		2	2				
	応用天然物化学特論	2②		1			3				
	小計(9科目)		0	9	0	18	15	1	0	0	
	【プログラム専門科目(演習・特別研究)】										
	薬剤学演習	1~2通		2		1					
	応用薬理学演習	1~2通		2		1					
	生体認識化学演習	1~2通		2		1					
	がん細胞生物学演習	1~2通		2		1					
	薬化学演習	1~2通		2		Ι'	1				
	薬品製造学演習	1~2通		2			l '				
				_		1					
	分子神経生物学演習	1~2通		2			1				
	遺伝情報制御学演習	1~2通		2		١.	1				
	分子細胞機能学演習	1~2通		2		1					
	薬用生物資源学演習	1~2通		2			1				
	分子合成化学演習	1~2通		2		1					
	生体界面化学演習	1~2通		2		1					
	構造生物学演習	1~2通		2		1					
	薬物生理学演習	1~2通		2		1					
	医療薬学演習	1~2通		2		1			l		
	病態制御薬理学演習	1~2通		2		1			l		
	医薬品安全性学演習	1~2通		2		2					
	薬物治療学演習	1~2通		2		1					
				_		l					
				l					l		
	臨床薬剤学演習	1~2通		2		1					
	與 制設計学演習	1~2通		2		1			l		
		1~2通				l '	4				
	資源科学演習 工作物创新党 第四			2		,	1				
	天然物創薬学演習	1~2通		2		1					
	神経機能学演習	1~2通		2		1			l		
	生体防御学演習	1~2通		2		1					
	複雜系解析演習	1~2通		2		1			l		
	未病学演習	1~2通		2		1					
				l					l		
	生物学演習	1~2通		2			1				
	ゲノム機能解析演習	1~2通		2		1					
	薬科学特別研究	1~2通	10			24	20	1			
	小計(29科目)		10	56	0	24	20	1	0	0	
	合計(153科目)	П	27	290	-	68	50	10	5	n	40

	配	í	单位数	έt	車	仟教	員等	の配	置	兼	任 利日				Ě	1位数	ά	車	仟教	員等	の配	置	兼
授業科目の名称	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・			授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
)	年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼扫	×	⊠分		年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
【プログラム専門科目(序論)】		1195	九	Щ	按	按	Eili	叙	+	担		基	【プログラム専門科目(序論)】		18	九	Щ	按	按	EIII	叙	+	担
薬学経済序論	1(1)	1			4					1	1	礎	薬学経済序論	1①	1			5					1
分子化学序論	1(3)	ľ	1		1	1				i .		薬	分子化学序論	1(3)	·	1		1	1				
生物物理学序論	13		1		3	4						学プ	生物物理学序論	13		1		3	3				1 1
薬理薬剤学序論	12		1		6	7							薬理薬剤学序論	1(2)		1		6	ŭ				
分子細胞生物学序論	1(1)		1		2	2						グ	分子細胞生物学序論	1(1)		1		2	2				
応用天然物化学序論	13				_	3						ラ	応用天然物化学序論	1(3)		1		_	2	1			11
応用和漢医薬学序論	13		'		3	2						ム	応用和漢医薬学序論	13		1		3	2				
小計(7科目)	-	1	6	0	17	11	0	0	0	1		科目	小計(7科目)	-	1	6	0	17	10	1	0	0	2
【プログラム専門科目(特論)】		H	-	-			-	- 0	-	H	l l'	_	【プログラム専門科目(特論)】	H	_	-	-	17	10	-	-	-	H
分子化学特論	1(4)		1		1	1							分子化学特論	1(4)		1		1	1				
分子設計学特論	14		1		1	1							分子設計学特論	1(4)		1		1	1				
生物物理学特論	1(4)		1		3	4							生物物理学特論	1(4)				3	3				
主初初 <u>华</u> 子符論 薬理学特論	2(1)				3	2	1							_		1		4	1	4			1
	-						' '						薬理学特論	2①					٠,	1			1
薬物動態学特論	2①		1		4								薬物動態学特論	2①		1		4					
分子生理学特論	13		1		1	1							分子生理学特論	13		1		1	1				
遺伝子応用分析学特論	22		1		2	3							遺伝子応用分析学特論	22		1		2	3				
分子細胞生物学特論	22		1		2	2							分子細胞生物学特論	22		1		2	2				١. ا
応用天然物化学特論	2②	_	1	_	- 10	3	_	_	_	_			応用天然物化学特論	2②	_	1	_	4-	2	1		_	1
小計(9科目)	\vdash	0	9	0	18	15	1	0	0				小計(9科目)	_	0	9	0	17	13	2	0	0	1
【プログラム専門科目(演習・特別研究)】			_		١.								【プログラム専門科目(演習・特別研究)】										
薬剤学演習	1~2通		2		1								薬剤学演習(未開講)	1~2通		2		1					1
応用薬理学演習	1~2通		2		1								応用薬理学演習	1~2通		2		1					
生体認識化学演習	1~2通		2		1								生体認識化学演習	1~2通		2		1					1
がん細胞生物学演習	1~2通		2		1								がん細胞生物学演習	1~2通		2		1					
薬化学演習	1~2通		2			1							薬化学演習	1~2通		2			1				1
薬品製造学演習	1~2通		2		1								薬品製造学演習	1~2通		2		1					
分子神経生物学演習	1~2通		2			1							分子神経生物学演習	1~2通		2			1				
遺伝情報制御学演習	1~2通		2			1							遺伝情報制御学演習	1~2通		2			1				1
分子細胞機能学演習	1~2通		2		1								分子細胞機能学演習	1~2通		2		1					
薬用生物資源学演習	1~2通		2			1							薬用生物資源学演習(未開講)	1~2通		2				1			
分子合成化学演習	1~2通		2		1								分子合成化学演習	1~2通		2		1					
生体界面化学演習	1~2通		2		1								生体界面化学演習	1~2通		2		1					
構造生物学演習	1~2通		2		1								構造生物学演習	1~2通		2		1					1
薬物生理学演習	1~2通		2		1								薬物生理学演習	1~2通		2		1					1
医療薬学演習	1~2通		2		1								医療薬学演習	1~2通		2		1					1
													植物機能科学演習	1~2週		2				1			
病態制御薬理学演習	1~2通		2		1								病態制御薬理学演習	1~2通		2		1					
医薬品安全性学演習	1~2通		2		2								医薬品安全性学演習	1~2通		2		2					
薬物治療学演習	1~2通		2		1								薬物治療学演習	1~2通		2		1					
													実践薬学演習	1~2週		2		1					
													臨床薬品作用学演習(未開講)	1~2週		2		1					1
臨床薬剤学演習	1~2通		2		1								臨床薬剤学演習	1~2通		2		1					
製剤設計学演習	1~2通		2		1								製剤設計学演習(未開講)	1~2通		2		1	1				
資源科学演習	1~2通		2			1							資源科学演習(未開講)	1~2通		2		1	1				
天然物創薬学演習	1~2通		2		1								天然物創薬学演習	1~2通		2		1					1
神経機能学演習	1~2通		2		1								神経機能学演習(未開講)	1~2通		2		1					
生体防御学演習	1~2通		2		1								生体防御学演習	1~2通		2		1					1
複雑系解析演習	1~2通		2		1								複雑系解析学演習	1~2通		2		1					
未病学演習	1~2通		2		1								未病学演習	1~2通		2		1					1
													漢方診斷学演習(未開講)	1~2週		2		1					1
生物学演習	1~2通		2			1							生物学演習	1~2通		2			1				
ゲノム機能解析演習	1~2通		2		1								ゲノム機能解析演習	1~2通		2		1					
薬科学特別研究	1~2通	10			24	20	1						薬科学特別研究	1~2通	10			26	21	2			
小計(29科目)	_	10	56	0	24	20	1	0	0				小計(33科目)	_	10	64	0	26	21	2	0	0	П
合計(153科目)	-	27	290	2	68	50	10	5	0	40			合計(159科目)	-	27	302	2	77	55	13	19	0	41
HH (19917 H)			200	_	50	50	.0	J	J	ľ	L		HI CLASSIA HIV	ш	-/	JUL	-	11	00	.0	.0	J	71

卒業要件及び履修方法

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履 修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定 の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在 学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるもの

■先端医科学プログラム (M)

次の履修方法により30単位以上を履修すること。

大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上 研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上

先端医科学プログラムのプログラム専門科目から必修13単位を含む22単位以上

■看護科学プログラム (M)

次の履修方法によりそれぞれ指定された単位を履修すること。

|合コース共通/ |大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上

、研究科技通科目から必修1単位を含む4単位以上(ナースプラクティショナー(NP)コースは「総合医薬学」必修1単位に加え、「解剖生理病態学序論」1単位、「解剖生理病態学特論」1単位、「病態薬理学序論」1単位の計5単位を必

・看護科学プログラムのプログラム共通科目(A群共通科目「看護研究」2単位、「コンサ ルテーション論」2単位、「看護管理論」2単位、「看護理論」2単位・B井共通科目「臨 薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位、「臨床推論 I J2単位、「救急看護演 習」1単位及び「健康生活研究計画法」1単位)から8単位以上

・「『看護ケアサイエンス学特論 I 』2単位、『看護ケアサイエンス学演習 I 』4単位及び 『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位」、「『看護ケアサイエンス学特論 II 』2単位、 『看護ケアサイエンス演習Ⅱ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位」のし ずれかを選択必修とする。

[母子看護学を選択した場合]

·『母性看護学特論 I』2単位、『母性看護学特論 I』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位」、「『小児看護学特論 I』2単位、『小児看護学特論 Ⅱ』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位」のいずれかを

『地域・老年看護学を選択した場合』

「『地域・老年看護学詩』 | 』単位、『地域・老年看護学演習 I 』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位」、「『地域・老年看護学特別研究』8単位」、「『地域・老年看護学特論 II 』2単位、『地域・老年看護学 富習Ⅱ∥4単位及び∥地域・老年看護学特別研究∥8単位」のいずれかを選択必修とす

(専門看護師(CNS)コース)

・看護科学プログラムのプログラム共通科目:A群共通科目から8単位以上,B群共通 科目から「病態生理学」2単位,「臨床薬理学」2単位及び「フィジカルアセスメント」2単

「がん看護CNSコースの場合]

・研究者コースの看護ウアサイエンス学の「成人看護学特論」2単位及びCNSコースの がん看護学分野がん看護の全科目30単位を必修 [母性看護CNSコースの場合]

・研究者コースの母子看護学の「母性看護学特論 I 」2単位、「母性看護学特論 I 」2単位 位、「母子看護学特別研究」8単位及びCNSコースの母子看護学分野母性看護の全科 クロドルナックを トースプラクティショナー(NP)コース

・ 看護科学プログラムのプログラム共通科目のA群共通科目の「看護研究」2単位必修 看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「病態生理学」2単位、 臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位及び「臨床推論 I 」2単位必修 NPコースのNP基礎科目の全科目13単位必修

・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論 I 」6単位、「アドバンスプラクティス 特論 I 」6単位、「アドバンスプラクティス演習 I 16単位、「アドバンスプラクティス 総合実習」6単位及び「アドバンスプラクティス実践課題研究」3単位必修

[NP急性期領域の場合]

・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「救急看護演習」1単位 必修

~・・・ ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅱ」4単位,「アドバンスプラク ティス演習Ⅱ」1単位,「アドバンスプラクティス実習Ⅱ」3単位必修 「NP慢性期領域の場合」

·看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「健康生活研究計画 法」1単位必修

・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅲ」1単位,「アドバンスプラク ティス演習Ⅲ」1単位,「アドバンスプラクティス実習Ⅲ」1単位必修

■基礎薬学プログラム (M)

次の履修方法により30単位以上を履修すること。

大学院共通科目から必修2単位を含む4単位 研究科共通科目から必修1単位を含む4単位

基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)から必修1単位を含む4単位 基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から4単位

・大学院共通科目、研究科共通科目、基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)及び基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から2単位以上

・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(演習・特別研究)から必修10単位を含む 12単位

卒業要件及び履修方法

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定 の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在 学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるもの

■先端医科学プログラム (M)

次の履修方法により30単位以上を修得すること。

大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上

先端医科学プログラムのプログラム専門科目から必修13単位を含む22単位以上

■看護科学プログラム (M)

次の履修方法によりそれぞれ指定された単位を修得すること。

谷コーへ六週/ 大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上

、研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上(ナースプラクティショナー(NP)コースは「総合医薬学」必修1単位に加え、「解剖生理病態学序論」1単位、「解剖生理病態学特論」1単位、「病態薬理学序論」1単位の計5単位を必

・看護科学プログラムのプログラム共通科目(A群共通科目「看護研究」2単位、「コンサ ルゲーンョン論」2単位、「看護管理論」2単位、「看護理論」2単位、12単位、「加速が 薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位、「臨床推論 I 」2単位、「救急看護演 習」1単位及び「健康生活研究計画法」1単位)から8単位以上

・「『看護ケアサイエンス学特論 I』2単位、『看護ケアサイエンス学演習 I』4単位及び 『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位」、「『看護ケアサイエンス学特論 II』2単位、 『看護ケアサイエンス演習Ⅱ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位」のい ずれかを選択必修とする。

[母子看護学を選択した場合]

·「『母性看護学特論 I』2単位、『母性看護学特論 I』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位」、「『小児看護学特論 I』2単位、『小児看護学特論 Ⅱ』2単位、『母子看護学演習』4単位及び『母子看護学特別研究』8単位」のいずれかを 選択必修とする

[地域・老年看護学を選択した場合]

「『地域・老牛看護学を述べした場合」 ・「『地域・老年看護学特別研究』8単位」、「『地域・老年看護学特論Ⅱ』2単位、『地域・老年看護学 演習Ⅱ』4単位及び『地域・老年看護学特論Ⅲ』2単位、『地域・老年看護学 演習Ⅱ』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位」のいずれかを選択必修とす

〈専門看護師(CNS)コース〉

・看護科学プログラムのプログラム共通科目:A群共通科目から8単位以上,B群共通 科目から「病態生理学」2単位,「臨床薬理学」2単位及び「フィジカルアセスメント」2単

-~・。 「がん看護CNSコースの場合]

「かん看護UNSコースの場合」 ・研究者コースの看護ケアサイエンス学の「成人看護学特論」2単位及びCNSコースの がん看護学分野がん看護の全科目30単位を必修 「母性看護CNSコースの場合」 ・研究者コースの母子看護学の「母性看護学特論 I 」2単位、「母性看護学特論 II 」2単位、「母子看護学特別研究」8単位及びCNSコースの母子看護学分野母性看護の全科

は、「中子信を子げのかりた」の手は及びのです。 (ナースプラグディショナー(NP)コース〉・ - 看護科学プログラムのプログラム共通科目のA群共通科目の「看護研究」2単位、 「看護倫理」2単位及び「看護政策論」2単位必修 ・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「病態生理学」2単位、 「臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスシト」2単位及び「臨床推論 I」2単位必修 ・NPコースのNP基礎科目の全科目13単位必修
・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論 I 16単位、「アドバンスプラク

「NP急性期領域の場合〕

・看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「救急看護演習」1単位

・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅱ」4単位、「アドバンスプラク

〔NP慢性期領域の場合〕

看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「健康生活研究計画 法」1単位必修

・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論皿」1単位、「アドバンスプラクティス演習皿」1単位、「アドバンスプラクティス実習皿」1単位必修・NPコースのNP特別科目のプライマリ・ケア特論2単位必修

■基礎薬学プログラム (M)

次の履修方法により30単位以上を修得すること。 大学院共通科目から必修2単位を含む4単位

研究科共通科目から必修1単位を含む4単位

基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)から必修1単位を含む4単位

・基礎案学プログラムのプログラム専門科目(特論)から4単位 ・基礎案学プログラムのプログラム専門科目(特論)から4単位 ・大学院共通科目、研究科共通科目、基礎案学プログラムのプログラム専門科目(序 論)及び基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から2単位以上 ・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(演習・特別研究)から必修10単位を含む

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) (注) •
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

 - 窓切中調査又は改直価面音が採式第2号(その2の1)に準じて作成していたさい。 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。 履修希望者がいなかったために未開護となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

 - 腹惨布望者がいなかったために、未開講となった付目についても付目名の後ろに「 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。) 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、 「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和4年度】

科目	· - ·	配当		单位数					の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	田町	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
太	研究倫理	1(1)-1(3)	1	1/1	Ш		12	Dih	77	7	4
学院	科学技術と持続可能社会 地域共生社会特論	1(2)	1	1		1					1
共通	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1(2)		1		3					
<u>ш</u> 科	アート・デザイン思考	12.14		1							
目	英語論文作成 I	13		1							ŀ
	英語論文作成 Ⅱ データサイエンス特論	14		1		1	1				1
	大学院生のためのキャリア形成	10.13		1		'	'				
	知的財産法	12.14		1							Ŀ
ΣΠ	小計(10科目)	-	2	8	0	5	1	0	0	0	3
研 究	総合医薬学 臨床研究の計画法	1① 1④	1	1		4	1				
科共	解剖生理病態学序論	13		1		3	1		1		
通	解剖生理病態学特論	14		1		2	1				
科目	病態薬理学序論	1①		1		1			3		
Ħ	病態薬理学特論 心身健康科学	1 ② 1①		1		1 2			3		
	日本語·日本文化	1-23/2/2/8		Ċ	2	_					
	小計(8科目)		1	6	2	15	3	0	4	0	
先端	【プログラム専門科目】	1 (1)	,			7	_	2			
医	基礎臨床医科学概論 社会医学序論	1① 1①	1			7	5 2	3			
科 学	社会医学特論	12	1			3	2				
プ	生体防御医学序論	13		1		2	2				
ログ	生体防御医学特論 分子ゲノム医科学序論	1 <u>4</u> 1 <u>1</u>		1		2	2 3		1		
ラ	分子ゲノム医科学特論	1②		1		2	3		1		
ム 科	中枢神経遺伝子工学序論(未開講)	1①		1		1	2				
Ħ	細胞内シグナル伝達系序論	12		1		1	2				
	中枢神経薬理学序論 臨床行動科学序論	13) 1(1)		1		2	1	2			
	臨床行動科学特論	1②		1		3	1	2			
	病態検査医学序論	13		1			1				
	病態検査医学特論	14		1		2		1			
	感覚·運動·脳病態学序論 感覚·運動·脳病態学特論	1③ 1④		1		5 5	3	2			
	東洋医学序論(未開講)	13		1		1	o	_			
	東洋医学特論(未開講)	14		1		3	2	1			
	高度先進医療実践学序論(未開講)	13 14		1		4					
	高度先進医療実践学特論 救急蘇生学序論	1(1)		1		8 1	2 1				
	救急蘇生学特論	12		1		1	1				
	災害危機管理学序論	1①		1		1	1				
	災害危機管理学特論 先端医科学特別研究	1② 1~2通	10	1		1 41	1 17	11			ı
	小計(25科目)	—	13	0.1		41					١.
看	【プログラム共通科目】	-		21	0	42	18	11	16 16	0	H
				21	0	42			-	0	F
	[A群共通科目]				0		18		-	0	
科 学	看護研究	1①②		2	0	1			-	0	
科 学 プ	看護研究 看護倫理	112		2 2	0	1	18		-	0	
科学プロ	看護研究			2	0	1	18		-	0	
科学プログラ	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論	11)2) 13(4)		2 2 2	0	1 1 1	3		-	0	
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護教育論(未開講) 看護理論	1(1)(2) 1(3)(4) 1(3)(4) 1(3)(4)		2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1	3		-	0	
科学プログラム	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護教育論(未開講) 看護理論 看護政策論(未開講)	1(1)(2) 1(3)(4) 1(3)(4) 1(3)(4)	0	2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1	3 1 1 1	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護教育論(未開講) 看護理論 看護政策論(未開講) 小計(7科目)	1(1)(2) 1(3)(4) 1(3)(4) 1(3)(4)	0	2 2 2 2 2 2	0	1 1 1 1 1	3 1 1		-	0	
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護教育論(未開講) 看護理論 看護政策論(未開講)	1(1)(2) 1(3)(4) 1(3)(4) 1(3)(4)	0	2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1	3 1 1 1	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護政策論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学	1102 134 134 134 134 134 - 1102 134	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 5	3 1 1 1 5 1 1	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護政策論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学 フィジカルアセスメント	1102 134 134 134 134 - 102 134 110	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 5 5 3 1	3 1 1 1 5 1	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護政論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共通科目] 病態生理学 ロィジカルアセスメント 臨床推論 I	1①2 134 134 134 134 - 102 134 1① 1①	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 5	3 1 1 1 5 1 1 2	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管理論(未開講) 看護政策論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共通科目] 病態生理学 臨床薬理学 フィジカルアセスメント	102 134 134 134 134 - 102 134 10 110	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 5 5 3 1	3 1 1 1 5 1 1	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルアーション論 看護管理論(未開講) 看護政論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共理学 短床薬理学 フィジカルアセスメント 臨床推護 救急看護演習	1①2 134 134 134 134 - 102 134 1① 1①	0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 5 5 3 1	3 1 1 1 5 1 1 2 2	11	16		
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルアーション論 看護管育論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共理理学 フィジカル論 I 病態生理学 フィジカル論 I 救急看生活研究計画法	102 134 134 134 134 - 102 134 110 110 110 13		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 14	0	1 1 1 1 1 1 5	3 1 1 1 5 1 1 2 2	0	0	0	
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルアーション論 看護管等 看護政策論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共理理学 フロ床推通選学 地球推護演習 健康生活が高い が計(6科目) 【研究者コース】 【研究者コース】 【看護ケアサイエンス学】	102 134 134 134 134 134 134 102 134 10 10 10 10		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1	0	1 1 1 1 1 5 5 3 1 1	3 1 1 1 1 5 1 2 2 1 5	0	0	0	
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルアーション論 看護管等育論(未開講) 看護教育論論(未開講) 小計(7科目) [B群共理理学 フロ床推通選学 を記すが加論 I 救急床薬力ル論 I 救急情報 選習 健康生活研究計画法 小計(6科目) 【研究者コース】 【研究者コース】 【看護ケアサイエンス学特論 I	102 134 134 134 134 102 102 103 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		2 2 2 2 2 2 2 2 2 14 2 2 2 2 1 1 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	0	1 1 1 1 1 5 5 3 1 1	3 1 1 1 5 1 1 2 2	0	0	0	
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルアーション論 看護管等 看護政策論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共理理学 フロ床推通選学 地球推護演習 健康生活が高い が計(6科目) 【研究者コース】 【研究者コース】 【看護ケアサイエンス学】	102 103 103 103 103 103 101 101 101 102 102 102		2 2 2 2 2 2 2 2 14 2 2 2 2 1 1 10	0	1 1 1 1 1 1 1 5 3 1 1	3 1 1 1 1 2 2 1 5	0	0	0	
ログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管等育論(未開講) 看護教育論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共通科目] 病態生理学 フロに来薬カルド 臨床薬カルド 主選がアナイエンメット 「研究者コース」 「看護ケアサイエンス学特論」 「人間である。」 「人間である。」 「大きないる。 「大きないる。」 「大きないる。 「大きない。 「大きない。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きない。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きない。 「大きない。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。 「大きない。 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	102 134 134 134 134 102 102 103 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		2 2 2 2 2 2 2 2 2 14 2 2 2 2 1 1 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	0	1 1 1 1 1 5 5 3 1 1	3 1 1 1 1 5 1 2 2 1 5	0	0	0	
科学プログラム科	看護研究 看護倫理 コンサルテーション論 看護管等育論(未開講) 看護教育論(未開講) 看護政策論(未開講) 小計(7科目) [B群共通科目] 病態生理理学 フなメント 臨床薬カル計 に教祖度 が計(6科目) 【研究者コース】 【看護ケアサイエンス学特論 I 体調がアサイエンス学特論 I 体調がアサイエンス学特論 I 体調がアサイエンス学	102 102 103 103 103 103 101 101 101 103 102 102 103		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 14 1 10 2 4	0	1 1 1 1 1 1 1 5 3 1 1	3 1 1 1 1 2 2 1 5	0	0	0	

		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
看	[母子看護学]										
護科	母性看護学特論 I	1(1)(2)		2		1	2				
学	母性看護学特論Ⅱ	1①②		2		1	3				
プロ	小児看護学特論 I (未開講) 小児看護学特論 II	1(1)(2) 1(3)(4)		2		1	1				
グ	小児有護子符論 II 日子看護学演習	1~2通		4		1	3				
グラ・	母子看護学特別研究	2通		8		1	3				
ム科	小計(6科目)	_	0	20	0	1	3	0	0	0	
目	[地域・老年看護学]				-					-	
	地域·老年看護学特論 I (未開講)	1(1)(2)		2		1		1			
	地域·老年看護学特論 II (未開講)	1通		2			1				
	地域·老年看護学演習 I (未開講)	1通		4		1		1			
	地域·老年看護学演習 I (未開講)	1通		4			1				
	地域•老年看護学特別研究	2通		8		1	1	1			
	小計(5科目)		0	20	0	1	1	1	0	0	
	【CNSコース】										
	[がん看護学分野がん看護] がん看護学特論 I (病態生理)	1(1)(2)		_		_	1				
	がん看護学特論 I (探助論)(未開講)			2		3	'				
	がん看揮学特論豆(がんリハビリテーション看譯論)未開講)	1(1)(2)		2		2					
l	かん 智 庚子 行議 単 (かんり) ハビリナーション 智 後議人 不所講) が人 看護実践演習: 参斯 ~ 手所後までの患者のリハビリナーション(大昊漢)	1通		2		2	2				
l	かんを放映機関 の の	1通		2		2	2				
l	が心を確実検索冒取項和ケア・在名の要やののの名のリハビリケーシェンスを発達	1通		2		2	2				
l	がん看護学実習 I (未開講)	1億~2通		6		2	2				
	がん看護学実習 Ⅱ(未開講)	1億~2通		4		2	2				
	がん看護実践特別研究(未 <mark>開講</mark>)	1~2通		8		2					
	小計(9科目)	_	0	30	0	3	2	0	0	0	
	[母子看護学分野母性看護]										
	母性看護学特論Ⅲ	1(1)(2)		2		1	2				
	周産期看護実践演習 I	112		2		1	2				
	周産期看護実践演習 Ⅱ 周産期看護実践演習Ⅲ	134 134		2		1	2				
	同座期有護夫战演音Ⅲ 周産期看護実践演習Ⅳ	134		2		1	1				
	周座期看護実習 I	1~2通		4		1	2				
	周産期看護実習Ⅱ	1~2通		4		1	2				
	周産期看護実習Ⅲ	1~2通		2		1	3				
	小計(8科目)	_	0	20	0	1	3	0	0	0	
	【NPコース】										
	[NP基礎科目]										
	臨床推論Ⅱ(未開講)	12		2			2				
	フィジカルアセスメント特論(未開講)	12		2			1				
	疾病・臨床病態概論(未開講)	134		4		1					1
	アドバンスプラクティス基礎特論(未開講)	_		2		2	1				
	アドバンスプラクティス基礎実習(未開講)	112		1		3					
	アドバンスブラクティス基礎実習『(未開講)	123		1		1					
	医療安全学(未開講) 小計(7科目)	13	0	13	0	5	4	0	0	0	1
l	(NP専門科目)	H	۲	13	U	٦	4	U	U	U	H
l	[INP 号]作 日] アドバンスプラクティス特論 [(未開講)	1 ④~2 }		6		2	1				
l	アドバンスプラクティス特論『(未開講)	1億~2通		4		1	ļ '				2
l	アドバンスプラクティス特論皿(未開講)			1			3				
l	アドバンスプラクティス演習 [(未開講)			3		2	1				
l	アドバンスプラクティス演習 I(未開講)	1④~2通		1		1	1				2
l	アドバンスプラクティス演習皿(未開講)	1④~2通		1		1	1				-
l	アドバンスプラクティス実習 I (未開講)	1④~2通		6		4	3				2
l	アドバンスプラクティス実習 II (未開講)	1④~2通		3		3	3				2
l	アドバンスプラクティス実習Ⅲ(未 <mark>開講</mark>)	1④~2通		1		1					
l	アドバンスプラクティス総合実習	234		6		5	2				3
l	アドバンスプラクティス実践課題研究	234	L	3		3		L			
l	小計(11科目)		0	35	0	8	6	0	0	0	4
l	[NP特別科目]										
l	プライマリ・ケア特論(未開講)	14		2		1					1
	クリティカル・ケア特論(未開講)	14		2			1				
	小計(2科目)		0	4	0	1	1				1
基礎	【プログラム専門科目(序論)】										
薬	薬学経済序論	1①	1			5					1
学	分子化学序論	13		1		1	1				
プロ	生物物理学序論	13		1		3	4				
ログラ	薬理薬剤学序論 分子細胞生物学序論	12 11		1		6	2				
	方于細胞生物学序論 応用天然物化学序論	13				_	3				
ム科	応用和漢医薬学序論	13		1		3	2				
目目	小計(7科目)	_	1	6	0	17	11	0	0	0	1
<u> </u>		_	_					_	_		_

_				M / L 14			1	<i>^-</i>	O.E.		兼
科目	1= 10 = 1 = 1	配当		单位数			**	員等		_	任
区分	授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
L		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
基珠	【プログラム専門科目(特論)】										
礎変	分子化学特論	14		1		1	1				
薬学プログラム	分子設計学特論	14		1		1	1				
プ	生物物理学特論	14		1		3	4				
	薬理学特論	2①		1		3	2	1			
12	薬物動態学特論	2①		1		4					
Ĺ	分子生理学特論	13		1		1	1				
科	遺伝子応用分析学特論	22		1		2	3				
目	分子細胞生物学特論	22		1		2	2				
	応用天然物化学特論	22		1			3				
	小計(9科目)		0	9	0	18	15	1	0	0	
	【プログラム専門科目(演習・特別研究)】										
	薬剤学演習(未開講)	1~2通		2		1					
	応用薬理学演習	1~2通		2		1					
	生体認識化学演習	1~2通		2		1					
	がん細胞生物学演習	1~2通		2		1					
	薬化学演習	1~2通		2			1				
	薬品製造学演習(未開講)	1~2通		2		1					
	分子神経生物学演習(未開講)	1~2通		2			1				
	遺伝情報制御学演習	1~2通		2			1				
	分子細胞機能学演習	1~2通		2		1					
	薬用生物資源学演習(未開講)	1~2通		2			1				
	分子合成化学演習	1~2通		2		1					
	生体界面化学演習	1~2通		2		1					
	構造生物学演習	1~2通		2		1					
	薬物生理学演習	1~2通		2		1					
	医療薬学演習(未開講)	1~2通		2		1					
	病態制御薬理学演習	1~2通		2		1					
	医薬品安全性学演習	1~2通		2		2					
	薬物治療学演習	1~2通		2		1					
	臨床薬剤学演習	1~2通		2		1					
	製剤設計学演習(未開講)	1~2通		2		1	1				
	資源科学演習(未開講)	1~2通		2			1				
	天然物創薬学演習	1~2通		2		1					
	神経機能学演習(未開講)	1~2通		2		1					
	生体防御学演習(未開講)	1~2通		2		1					
	複雜系解析学演習	1~2通		2		1					
	未病学演習(未開講)	1~2通		2		1					
	生物学演習(未開講)	1~2通		2			1				
	ゲノム機能解析演習(未開講)	1~2通		2		1					
	薬科学特別研究	1~2通	10	-		24	23	1			
	小計(29科目)		10	56	0	24	23	1	0	0	
	合計(155科目)	_	27	290	2	76	57	13	18	0	41
—		e alle un			<u> </u>	ĻŤ.	<u> </u>				

卒業要件及び履修方法

(修了要件) 2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたよ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。

- (履修方法)
 ■先端医科学プログラム (M)
 次の履修方法により30単位以上を<mark>修得</mark>すること。
 ・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上
 ・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上
 ・先端医科学プログラムのプログラム専門科目から必修13単位を含む22単位以上

- ■看護科学プログラム (M) 次の履修方法によりそれぞれ指定された単位を修得すること。
 〈各コース共通・大学院共通科目から必修2単位を含む4単位以上・研究科共通科目から必修1単位を含む4単位以上(ナースプラクティショナー(NP)コースは「総合医薬学」必修1単位に加え、「解剖生理病態学序論」1単位、「解剖生理病態学特論」1単位、「病態薬理学序論」1単位の計5単位を必修とする。)

・看護科学プログラムのプログラム共通科目(A群共通科目「看護研究」2単位,「コンサ ルテーション論」2単位、「看護管理論」2単位、「看護理論」2単位・B井共通科目で展 薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位、「臨床推論 I J2単位、「救急看護演 習」1単位及び「健康生活研究計画法」1単位)から8単位以上

、『一直接ケアサイエンス学特論 I 』2単位、『看護ケアサイエンス学演習 I 』4単位及び 『看護ケアサイエンス学特論 I 』2単位、「『看護ケアサイエンス学特論 I 』2単位、 『看護ケアサイエンス演習Ⅱ』4単位及び『看護ケアサイエンス学特別研究』8単位」のし ずれかを選択必修とする。

9 4 いかに たいなかと テッペ - 「日子看護学を選択した場合」 - 「『母性看護学特論 I 』2単位、『母性看護学特論 I 』2単位、『母子看護学演習』4単位 □ 『日は『はずける』』。2年に、『日は『はまずける』。2年は、『日』「『はまず成自』で年は 及び「日子看護学特別研究』。2単位、『「小児看護学特別研究』。8単位」のいずれかを Ⅲ』2単位、『日子看護学演習』4単位及び『日子看護学特別研究』8単位」のいずれかを

[地域・老年看護学を選択した場合] ・「『地域・老年看護学特論 I』2単位、『地域・老年看護学演習 I』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位」、「『地域・老年看護学特論 II』2単位、『地域・老年看護学 演習 I』4単位及び『地域・老年看護学特別研究』8単位」のいずれかを選択必修とす

(専門看護師(CNS)コース)

・看護科学プログラムのプログラム共通科目:A群共通科目から8単位以上,B群共通 科目から「病態生理学」2単位、「臨床薬理学」2単位及び「フィジカルアセスメント」2単 位必修。

〔がん看護CNSコースの場合〕

・研究者コースの看護ケアサイエンス学の「成人看護学特論」2単位及びCNSコースのがん看護学分野がん看護の全科目30単位を必修

が代ط版子カチルがで有機の共有では、 「母性看護CNSコースの場合」 ・研究者コースの母子看護学の「母性看護学特論 I 」2単位,「母性看護学特論 I 」2単 「母子看護学特別研究」8単位及びCNSコースの母子看護学分野母性看護の全科 目20単位を必修

-(NP)コース> スプラクティショナ・

・看護科学プログラムのプログラム共通科目のA群共通科目の「看護研究」2単位, 「看護倫理」2単位及び「看護政策論」2単位必修

看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「病態生理学」2単位、 「臨床薬理学」2単位、「フィジカルアセスメント」2単位及び「臨床推論 I 」2単位必修・NPコースのNP基礎科目の全科目13単位必修

・NPコースのNP専門科目の「アドバンスブラクティス特論 I 」6単位,「アドバンスプラクティス演習 I 」8単位,「アドバンスプラクティス実習 I 」6単位,「アドバンスプラクティス 総合実習」6単位及び「アドバンスプラクティス実践課題研究」3単位必修

[NP急性期領域の場合]
-看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「救急看護演習」1単位

を/♥ ・NPコースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論 Ⅱ 」4単位,「アドバンスプラク ティス演習 Ⅱ 」1単位,「アドバンスプラクティス実習 Ⅱ 」3単位必修

スのNP特別科目のクリティカル・ケア特論の2単位必

[NP慢性期領域の場合]

看護科学プログラムのプログラム共通科目のB群共通科目の「健康生活研究計画 法口单位必修

バス」「キロなり ドルマースのNP専門科目の「アドバンスプラクティス特論Ⅲ」」1単位,「アドバンスプラクティス演習Ⅲ」1単位,「アドバンスプラクティス実習Ⅲ」1単位必修

NPコースのNP特別科目のプライマリ・ケア特論2単位必修

■基礎薬学プログラム (M)

次の履修方法により30単位以上を修得すること。 大学院共通科目から必修2単位を含む4単位

- 研究科共通科目から必修1単位を含む4単位
- 基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)から必修1単位を含む4単位
- 基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(特論)から4単位
- ・大学院共通科目、研究科共通科目、基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(序論)及び基礎薬学プログラムのプログラムのプログラムのプログラム専門科目(特論)から2単位以上・基礎薬学プログラムのプログラム専門科目(演習・特別研究)から必修10単位を含む
- 12単位
- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。 <u>「(未開講)」として記入</u>してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

【令和4年度】

- ・教員の就任辞退に伴う担当教員の見直しにより、「英語論文作成 I 」の配当年次を「1①・1③」から「1③」に、「英語論文作成 I 」の配当年次を「1②・1④」から「1④」へと変更。
 ・教員の昇任及び退職により、「解剖生理病態学序論」の専任教員の配置を「教授 2 、准教授 2 、助教 1 」から「教授 3 、准教授 1 」へ変更。
 ・教員の就任により、「解剖生理病態学特論」の専任教授の配置を「1」から「2」へ変更。
 ・教育上の効果を高めるため、「病態薬理学序論」の配当年次を「1③」から「1①」に、「病態薬理学特論」の配当年次を「1④」から「1②」に変

- 重

- ・教員の就任辞退により、「基礎臨床医科学概論」の専任准教授の配置を「6」から「5」に変更。 ・担当教員の見直しにより、「生体防御医学序論」「生体防御医学特論」の専任准教授の配置を「1」から「2」へ変更。 ・教員の就任により、「病態検査医学特論」の専任講師の配置を「0」から「1」へ変更。 ・教員の就任辞退により、「高度先進医療実践学序論」の専任教授の配置を「1」から「0」に変更。 ・担当教員の見直しにより、「高度先進医療実践学特論」の専任教員の配置を「教授6、推教授1」から「教授8、准教授2」へ変更。 ・教員の採用により、「救急蘇生学序論」「救急蘇生学特論」「災害危機管理学序論」「災害危機管理学特論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」へ変更。
- ・教員の就任、就任辞退及び教育体制充実のため、「先端医科学特別研究」の専任教員の配置を「教授33、准教授13、講師8」から「教授41、准教

- ・教員の就任、就任辞退及び教育体制充実のため、「先端医科学特別研究」の専任教員の配置を「教授3、推教授13、講師8」から「教授41、准教授17、講師11、助教16」に変更。
 ・教育体制充実のため、「看護ケアサイエンス学特別研究」の専任教員の配置を「教授6」から「教授6、准教授5」に変更。
 ・教育体制充実のため、「母子看護学特別研究」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1、准教授3」に変更。
 ・教育体制充実のため、「母子看護学特別研究」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1、准教授3」に変更。
 ・教育体制充実のため、「地域・老年看護学特別研究」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1、推教授1、講師1」に変更。
 ・教育体制充実のため、「地域・老年看護学特別研究」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1、推教授1、講師1」に変更。
 ・教育体制充実のため、「がん看護実践演習I(診断~手術後までの患者のリハビリテーション)」「がん看護実践演習II(薬の素法・放射線療法をうける患者のリハビリテーション)」「がん看護実践演習II(緩和ケア・在宅療養中の患者のリハビリテーション)」「がん看護学実習1」「がん看護学実習1」の専任権教授の配置を「1」から「2」に変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスブラクティス特論1」の専任教員の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」へ変更。・担当教員の見直しにより、「アドバンスブラクティス総合実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授5、准教授2、兼担3」へ変更。・教育研究上の必要があるため、「ブライマリ・ケア特論」、「クリティカル・ケア特論」を新設し、選択領域に応じて必修科目として設定。・教育の就任により、「製剤設計学演習」の専任教授の配置を「4」から「5」に変更。
 ・教員の就任により、「製剤設計学演習」の専任権教授の配置を「0」から「1」へ変更。

【令和5年度】

- ・教育上の効果を高めるため、「英語論文作成 I」の配当年次を「1③」から「1①・1③」に、「英語論文作成 II」の配当年次を「1④」から「1 ②・1④」へと変更。
- ・教員の就任、教員の昇任及び担当教員の見直しにより、「解剖生理病態学特論」の専任教員の配置を「教授2、講師1」から「教授2、准教授 21へ変更
- -」 くく。 ・教員の退職により、 「病態薬理学序論」「病態薬理学特論」の専任助教の配置を「3」から「2」へ変更。
- ・教員の退職及び担当教員の見直しにより、「基礎臨床医科学概論」専任教員の配置を「教授7、准教授5、講師3」から「教授7、准教授5、講 へ変更。
- ・教員の退職により、「社会医学序論」「社会医学特論」の専任准教授の配置を「2」から「1」へ変更。
- ・教員の退職により、「臨床行動科学序論」「臨床行動科学特論」の専任講師の配置を「2」から「1」へ変更。 ・担当教員の見直しにより、「高度先進医療実践学序論」の専任教員の配置を「教授4」から「教授6、准教授1」へ変更。 ・担当教員の見直しにより、「高度先進医療実践学特論」の専任教員の配置を「教授8、准教授2」から「教授9、准教授1」へ変更。
- ・教員の退職により、「救急蘇生学序論」「救急蘇生学特論」「災害危機管理学序論」「災害危機管理学特論」の専任教員の配置を「教授 1、准教
- 授1」から「教授1」へ変更。 ・教員の就任、退職及び担当教員の見直しにより、「先端医科学特別研究」の専任教員の配置を「教授41、准教授17、講師11、助教16」から「教授

- ・担当教員の見直しにより、「臨床推論I」の教員の配置を「教授1、兼担1」から「准教授1」へ変更。
 ・教員の退職により、「救急看護演習」の専任准教授の配置を「2」から「1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「臨床推論II」の専任教授の配置を「0」から「1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「フィジカルアセスメント特論」の専任教授の配置を「0」から「1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスプラクティス基礎実習I」の専任教授の配置を「0」から「1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスプラクティス基礎実習I」の専任教授の配置を「0」から「1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスプラクティス基礎実習I」の専任教員の配置を「0」から「1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスプラクティス実習I」の専任教員の配置を「教授4、准教授2」から「教授3、准教授1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスプラクティス実習I」の専任教員の配置を「教授4、准教授2」から「教授5、准教授1」へ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「アドバンスプラクティスに変弱II」の専任教員の配置を「教授5、准教授2、兼担3」から「教授4、准教授1、
- 兼担2」へ変更。

- 無担2」へ変更。 ・担当教員の見直しにより、「プライマリ・ケア特論」の教員の配置を「准教授1、兼担1」から「教授1、准教授1、兼担2」へ変更。 ・担当教員の見直しにより、「クリティカル・ケア特論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。 ・教員の退職により、「生物物理学序論」「生物物理学特論」の専任准教授の配置を「4」から「3」へ変更。 ・教員の就任及び退職により、「応用天然物化学序論」「応用天然物化学特論」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授2、講師1、兼担 1」へ変更。

- ・教員の昇進により、「薬理学特論」の専任教員の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授4、准教授1、講師1」へ変更。 ・教員の就任及び退職により、「薬用生物資源学演習」の専任教員の配置を「准教授1」から「講師1」へ変更。 ・教育体制充実のため、「植物機能科学演習」「実践薬学演習」「臨床薬品作用学演習」「漢方診断学演習」を新設し、選択科目として設定。 ・教員の就任により、「資源科学演習」の専任教授の配置を「0」から「1」へ変更。
- ・教員の就任、退職及び昇任により、「薬科学特別研究」の専任教員の配置を「教授24、准教授23、講師1」から「教授26、准教授21、講師2」へ 変更。
- (注) 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

ſ		設置時	の計画			変更	状況		備考
I	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	ルボ ラ
	9 科目	143 科目	1 科目	153 科目	9 科目 [0]	149 科目 [6]	1 科目 [0]	159 科目 [6]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目滅の場合:△1)
 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当	当なし			

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					容					備考
(1)		区	分		専	用		共	用			用する他 校等の専				計		
		校翁	舎 敷 均	也		517, 518, 518,	281 m ²		-	m²			-	mî		517, 518, 518,	281 m²	
校		運動	协場用地	<u>t</u>		105,	572 m [*]		-	m			-	m²		105,	572 m [‡]	用途変更のため(5)
地		/]\	言	ŀ		623, 623, 623,	853 m [*]		-	mÎ			-	m²		623, 623, 623,	853 m ²	用途変更のため(4)
等		そ	の他	2		90,	179 769 m		-	mÎ			-	m²		90, 89,	179 769 m ² 909	
		合	Ē	ŀ		713,	622 m ²		-	m			-	m²		713,	622 m ²	
					専	用		共	用			用する他				計		
(2) 校		Š	舎		22 22 22 (22	0, 943 8, 408 8, 130 8, 398 8, 408	m [*]	(m²)	m ²	(-	m ²)	m ⁱ (22 22 22 22	30, 943 28, 408 28, 130 28, 398 28, 408 28, 130	mî mî)	<mark>用途変更のため(5)</mark> 用途変更のため(4)
						8, 130	演習		実	験実習	<u> </u>	情報処	理学習	施設		28, 130 学学習/	施設	
(3) 教		室	\$		129 130 131	室		239 246 室 238			678 664 室 653	(補助聯	20	21 室			2 3 室	用途変更のため (5) 用途変更のため (4)
						新	設学部等	の名称					室		数			専任教員の追加のため
(4) 専	任教	(員研究)	室		総	合医薬学	研究科	総合医薬	学専攻				140 131				室	(5)
					図書		学術	推誌				+B 11+ A44				128		
(5)	1	新設学部 の名称		(?	ち外国書〕		〔うち外	·国書〕	電子	ジャー	ナル	視聴覚	資料	憷怈	・器具	標	本	
						m m		種	〔う	ち外国	書〕		点		点		点	研究科単位での特定 不能なため、大学全
	総合	: 医薬学	研究科	1, 343,	175 〔418, 261 130 〔421, 87 4 198 〔424, 33 3	3	3, 409 〔2 3 <mark>, 464 〔2</mark> 3, 029 〔	1, 147)	15, 45	17 (14, 1 <mark>8 (13,</mark> 17 (13,	947)		18, 002 18, 559 18, 448	3	37 3 <mark>6</mark> 37		0	体の数
図書・設	総	合医薬学	单専攻	(1, 343,	175 [418, 261 430 [421, 874 198 [424, 333	(3)	3 , 464 〔2	21, 405)) 21, 147)) 7, 203))	(15, 45	7 [14, 8 [13, 7 [13,	947)	-	18, 002 18, 559 18, 448	-(3	37) 3 6) 37)	(0)	新規受入、図書の整
備				1, 343,	175 [418, 261 130 [421, 874 198 [424, 333	3	3, 409 〔2 3, 464 〔2 3, 029 〔	1, 147)	15, 45	17 (14, 18 (13, 17 (13,	947)		18, 002 18, 559 18, 448	3	37 36 37		0	理のため(5) 新規受入、図書の整 理及び教育研究の充
		計		1, 328, 1, 343,	175 [418, 261 130 [421, 874 198 [424, 333	(6)	3, 409 [2	11, 405)) 11, 147))	(45, 48 (15, 45	7 [14, 8 [13, 7 [13,	227〕) 947〕)		18, 002 18, 559 18, 448	(3	37) 3 6) 37)	((0)	実のため (4)
				1,010,	面	積	0,020 (,, 200,		恒座席			収		可能	· m	数	
(6) 図		書館	館				13, 840	m				1, 418 1, 414 1, 512				1, 0 1, 0)40, 086) 56, 750	<mark>用途変更のため(5)</mark> 新型コロナウイルス 感染対策のため(4)
					面	積				体育	育館以外	のスポー	・ツ施部	との概要	———			
(7) 体		育(館				7, 112	m ² 弓 道	道 場		武 i	道 館	プー	ル・	テ ニ	スコ	- F	大学全体
				区	分	開設:	年度	完成年度	Ę	区	分	開設前	年度	開設	年度	完成	年度	
(8)		経費の 見積り	教 員 1	1人当り	研究費等		千円	_ =	千円	図書購	入費		千円		千円	_	- 千円	
経費の積り及)見 とび		共 同	研	究費等		千円	_ =	千円	設備購	入費	_	千円		千円	_	- 千円	国費による
維持方	法	学生 1		第	1 年次	第	2年次	第	3 年次		第4年	次	第	5 年次		第6年	手次	
		納付	金		一 千円		– ₹	·円	— Т	円	_	- 千円		— ₹	f円	_	- 千円	
		学	生納付	金以外の	維持方法の概	要					_	-						

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)</u>
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。

なお、昨年度の報告において<mark>赤字で見え消し</mark>した部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。

- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	富山	大 学								平均入学定員 超過率0.7倍以 下の学科数	0	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数 収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	188	3年次7	730	-	1. 02	-	1. 08	1. 03	-		-	
人文学科	4	188	3年次7	730	学士 (文学)	1. 02	-	1. 08	1. 03	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	令和4年度から入学定員変更(170→188)
<u>教育学部</u>	4	85	-	170	-	1. 04	-	1.04	-	-		-	
<u>共同教員養成課程</u>	4	85	-	170	学士 (教育学)	1. 04	-	1.04	-	-	令和4	富山県富山市五福3190番地	
人間発達科学部												-	
発達教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	-	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	令和4年度入学生より学生募集停止
人間環境システム学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度入学生より学生募集停止
経済学部	4	365	3年次10	1, 420	-	1. 01	_	1. 04	1. 01	-		-	
(昼間主コース)	4	335	3年次10	1, 300	- 学士	1. 01	-	1. 03	1. 01	_		-	
経済学科	4	135	3年次4	518	(経済学) 学士	1.00	-	1. 05	1. 02	_	平成30		令和4年度から入学定員変更(120→135)
経営学科	4	108	3年次4	424	(経営学) 学士	1. 01	-	1. 02	1. 01	_	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更(100→108)
経営法学科	4	92	3年次2	358	子工 (法学)	1. 01	-	1. 02	1. 01	_	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更 (85→92)
(夜間主コース)	4	30	-	120	- 学士	1. 08	-	1. 07	1. 03	_		_	
経済学科	4	10	-	40	(経済学)	1. 10	-	1. 10	1. 02	_	平成30	富山県富山市五福3190番地	
経営学科	4	10	-	40	学士 (経営学)	1. 07	-	1. 02	1. 00	_	平成30	同上	
経営法学科	4	10	-	40	学士 (法学)	1. 07	-	1. 10	1. 07	-	平成30	同上	
里学部	4	193	3年次4	774	-	1. 04	_	1. 07	1. 02	_		-	
数学科	4	45	-	190	学士 (理学)	1. 03	-	1. 07	1. 01	_	昭和52	富山県富山市五福3190番地	令和4年度から入学定員変更(50→45)
物理学科	4	40	3年次1	162	学士(理学)	1. 06	-	1. 12	1. 06	_	昭和52	同上	
化学科	4	35	3年次1	142	学士(理学)	1. 05	_	1. 07	1. 04	_	昭和52	同上	
生物学科	4	38	3年次1	148	学士(理学)	1. 02	_	1. 03	0. 97	_	昭和52	同上	令和4年度から入学定員変更(35→38)
自然環境科学科	4	35	3年次1	132	学士(理学)	1. 03	-	1. 07	1. 03	-	平成5	同上	令和4年度から入学定員変更 (30→35)
					(41)								
<u>医学部</u>													
<u>医学科</u>	6	105	2年次5	655	学士 (医学)	1. 00	-	1. 01	1.00	令和5	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	入学定員変更 (95→105) ※臨時定員増継続
看護学科	4	80	3年次10	340	学士 (看護学)	1.00	-	0. 95	-	-	平成5	同上	
薬学部					* +								
薬学科	6	70	-	360	学士 (薬学) 学士	1. 03	-	1. 04	1. 01	-			令和4年度から入学定員変更 (55→70)
創薬科学科	4	35	-	170	学工 (薬科学)	1. 05	-	1. 08	1. 05	-	平成18	同上	令和4年度から入学定員変更(50→35)
工学部	4	380	3年次17	1, 524	-	1. 02	-	1. 05	1. 01	-		-	
工学科	4	380	3年次17	1, 524	学士 (工学)	1. 02	-	1. 05	1. 01	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	_	_	_	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成9	同上	平成30年度入学生より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	_	_	_	学士(工学)	_	_	_	-	_	平成9	同上	平成30年度入学生より学生募集停止

既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考
環境応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度入学生より学生募集停止
材料機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度入学生より学生募集停止
芸術文化学部	4	110	-	440	-	1. 03	-	1.06	1. 02	-		-	
芸術文化学科	4	110	-	440	学士 (芸術文化 学)	1. 03	-	1.06	1. 02	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地	
					.,								
都市デザイン学部	4	159	3年次3	604	-	1. 04	-	1. 08	1. 05	-		-	
地球システム科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1. 01	-	1. 05	1. 03	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	54	3年次1	190	学士 (工学)	1. 03	-	1. 10	1. 04	-	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更(40→54)
材料デザイン工学科	4	65	3年次2	254	学士 (工学)	1. 06	-	1. 08	1.06	-	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更(60→65)
大学全体	ı	1, 770	2年次5 3年次51	7, 527	ı	ı	ı	ı	-	-	-	-	

- ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下
- ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。なお、「平均入学定員配過率」が1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。第出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割らを記入してください。第1年第22項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学料については、必ず大学に且でしてください。

5 教員組織の状況

<総合医薬学研究科 総合医薬学専攻>

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

		3.油山吋】	_		u + ++);	~-		11 2 41	~ 1
専任・・・の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	3	専兼兼の 発担・ 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	一條 裕之 《令和4年4月》 博士(医学) 解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス基礎実習 I		専	教授	一條 裕之 <令和4年4月> 博士(医学) 解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス基 礎実習 I	専	教授	一條 裕之 《令和4年4月》 博士(医学) 解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス基 礎実習 I
専	教授	田村 了以 <令和4年4月> 医学博士 解剖生理病態学序論 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究		専	教授	田村 了以 <令和4年4月> 医学博士 解剖生理病態学序論 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究	専	教授	田村 了以 <令和4年4月> 医学博士 解剖生理病態学序論 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	井ノロ 馨 <令和4年4月> 博士(農学) 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究		専	教授	井ノロ 馨 <令和4年4月> 博士(農学) 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究	専	教授	井ノロ 馨 < 令和4年4月> 博士(農学) 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
専	教授	伊藤 哲史 <令和4年4月> 博士(医学) 解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究		専	教授	伊藤 哲史 《令和4年4月》 博士 (医学) 解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究	専	教授	伊藤 哲史 《令和4年4月》 博士(医学) 解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究
				*	教授	平林 健一 《令和4年10月》 博士 (医学) 解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究	專	教授	平林 健一 《令和4年10月》 博士 (医学) 解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究
専	教授	森永 芳智 < 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学) 生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究		専	教授	森永 芳智 《令和4年4月》 博士(医学) 生体防御医学序論 生体防御医学特別研究	専	教授	森永 芳智 《令和4年4月》 博士(医学) 生体防御医学序論 生体防御医学特別研究
専	教授	中川 崇 < 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学) 病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究 臨床薬理学		専	教授	中川 崇 < 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学) 病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究 臨床薬理学	専	教授	中川 崇 < 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学) 病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究 臨床薬理学

また			また	1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	また	1	<u> </u>
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		関根 道和			関根 道和			関根 道和
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授 (研究 科 長)	< 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学) 総合医薬学社会医学序論社会医学特論	專	教授 (研 究科 長)	<令和4年4月> 博士(医学) 総合医薬学 社会医学序論 社会医学特論
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
		稲寺 秀邦			稲寺 秀邦			稲寺 秀邦
車	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
,		科学技術と持続可能社会 基礎臨床医科学概論 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究			科学技術と持続可能社会 基礎臨床医科学概論 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究			科学技術と持続可能社会 基礎臨床医科学概論 社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
		西田 尚樹			西田 尚樹			西田 尚樹
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究			社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究			社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
		森寿			森寿			森寿
		<令和4年4月> 医学博士			<令和4年4月> 医学博士			<令和4年4月> 医学博士
専	教授	総合医薬学 基礎臨床医科学概論 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論	専	教授	総合医薬学 基礎臨床医科学概論 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論	專	教授	総合医薬学 基礎臨床医科学界論 分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学序論 中枢神経遺伝子工学序論 中枢神経薬理学序論 中枢神経薬理学所究 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		袴田 優子			袴田 優子			袴田 優子
		<令和4年4月> 博士(教育学)			<令和4年4月> 博士(教育学)			<令和4年4月> 博士(教育学)
専	教授	研究者としてのコミュニケー ション: 基礎と応用 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究	専	教授	研究者としてのコミュニ ケーション: 基礎と応用 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究	· 申	教授	研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用 臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
		戸邉 一之			戸邉 一之			戸邉 一之
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
		絹川 弘一郎			絹川 弘一郎			絹川 弘一郎
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		安田 一朗			安田 一朗			安田 一朗
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究
		山本善裕			山本善裕			山本 善裕
車	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
P	7 0.1X	生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習 I	þ	₩.IX	生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習 I		70,10	生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習 II
		清水 忠道			清水 忠道			清水 忠道
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究			東洋医学特論 先端医科学特別研究			東洋医学特論 先端医科学特別研究
		鈴木 道雄			鈴木 道雄			鈴木 道雄
専	教授	<令和4年4月> 医学博士	専	教授	<令和4年4月> 医学博士	専	教授	<令和4年4月> 医学博士
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究			臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究			臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
		野口京			野口京			野口京
車	教授	<令和4年4月>	車	教授	<令和4年4月>	車	教授	<令和4年4月>
号	叙按	博士(医学)	守	叙技	博士(医学)	7	我按	博士(医学)
		病態検査医学特論 先端医科学特別研究			病態検査医学特論 先端医科学特別研究			病態検査医学特論 先端医科学特別研究
		齋藤 淳一			齋藤 淳一			齋藤 淳一
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		病態検査医学特論 先端医科学特別研究			病態検査医学特論 先端医科学特別研究			病態検査医学特論 先端医科学特別研究
		芳村 直樹			芳村 直樹			芳村 直樹
		<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)
専	教授	高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドパンスプラクティス演習 I アドバンスプラクティス実習 I アドバンスプラクティス総合実 習	専	教授	高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス演 習 I アドバンスプラクティス実 習 I アドバンスプラクティス総 合実習	専	教授	高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス演 習 I アドバンスプラクティス実 習 I アドバンスプラクティス総 合実習
		藤井 努			藤井 努			藤井 努
		<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)
専	教授	高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習 II アドバンスプラクティス総合実 習	専	教授	高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習 II アドバンスプラクティス総 合実習	専	教授	高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習 II アドバンスプラクティス総 合実習

氏 (年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年
土谷 智史 《令和4年10月》 博士(医学) 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 黒田 敏 《令和4年4月》 博士(医動・脳病態学序・論・受覚・医科学時別研究 基礎覧・運動・脳病態学等・論・受力・関サーム・関・大学を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を
〈令和4年10月〉 博士(医学) 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 黑田 敏 〈令和4年4月〉 博士(医学) 基礎臨・運動・脳病態学等論 先端医学特別研究 「川口 善治 〈令和4年4月〉 博士(医学) 感覚・医科学概論 一時十一年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年十二年
博士 (医学) 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 黒田 敏 《令和4年4月》 博士 (医学) 基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 完第三学特別研究 川口 善治 《令和4年4月》 博士 (医学) 感覚・運動・脳病態学序論
先端医科学特別研究 黒田 敏 《令和4年4月〉 博士(医学) 基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 を完善を対験を発生を対して、 川口 善治 《令和4年4月〉 博士(医学) 感覚・運動・脳病態学序論 が、
《令和4年4月》 博士(医学) 基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 川口 善治 《令和4年4月》 博士(医学) 感覚・運動・脳病態学序論
博士(医学) 基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 川口 善治 〈令和4年4月〉 博士(医学) 感覚・運動・脳病態学序論
感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 川口 善治 <令和4年4月> 博士(医学) 感覚・運動・脳病態学序論
<令和4年4月> 博士(医学) 感覚・運動・脳病態学序論
博士(医学)感覚・運動・脳病態学序論
感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習 I アドバンスプラクティス実 習 I アドバンスプラクティス総 合実習
中島 彰俊
<令和4年4月> 博士(医学)
高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習 Ⅱ
林 篤志
<令和4年4月> 博士(医学)
感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 薬学経済序論
北村 寛
<令和4年4月> 博士(医学)
高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
野口 誠
<令和4年4月>
博士 (医学)
感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
先ア習ア習ア合 一 高先ア習 一 感感先薬 一 高先 一 感感

専任・			専任・		1	専任・		T T
兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		佐藤 勉			佐藤 勉			佐藤 勉
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究
		貝沼 茂三郎			貝沼 茂三郎			貝沼 茂三郎
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学序論 東洋医学特論			東洋医学序論 東洋医学特論			東洋医学序論 東洋医学特論 先端医科学特別研究
		中辻 裕司			中辻 裕司			中辻 裕司
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究			感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究			感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
					土井 智章			土井 智章
					<令和5年3月> 博士(医学)			<令和5年3月> 博士(医学)
			*	教授	救急蘇生学序論 救急蘇生学特論 災害危機管理学序論 災害危機管理学特論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究	*	教授	款急蘇生学序論 救急蘇生学特論 災害危機管理学序論 災害危機管理学特論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
		林龍二			林 龍二			林 龍二
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 がん看護学特論 I (病態生理)			高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 がん看護学特論 I (病態生 理)			高度先進医療実践学序論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究 がん看護学特論 I (病態生 理)
		長島 久			長島 久			長島 久
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		中條 大輔			中條 大輔			中條 大輔
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		データサイエンス特論 臨床研究の計画法 高度先進医療実践学序論			データサイエンス特論 臨床研究の計画法 <mark>先端医科学特別研究</mark> 高度先進医療実践学序論			データサイエンス特論 臨床研究の計画法 <mark>先端医科学特別研究</mark> 高度先進医療実践学序論
		佐武 利彦			佐武 利彦			佐武 利彦
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究

士ル	ī		また			ま た	1	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		寺元 剛			寺元 剛			寺元 剛
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学) 臨床研究の計画法 高雄 啓三	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学) 臨床研究の計画法 高雄 啓三	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学) 臨床研究の計画法 高雄 啓三
専	教授	<令和4年4月> 博士(情報学) 基礎臨床医科学概論	専	教授	<令和4年4月> 博士(情報学) 基礎臨床医科学概論	専	教授	<令和4年4月> 博士(情報学) 基礎臨床医科学概論
		先端医科学特別研究	<u> </u>	教授	先端医科学特別研究 高岡 裕 〈令和4年10月〉		教授	先端医科学特別研究 高岡 裕 〈令和4年10月〉
			4	教授	博士 (医学) 先端医科学特別研究 服部 憲明		教授	博士 (医学) 先端医科学特別研究 服部 憲明
			專	教授	<令和4年10月> 博士(医学) 先端医科学特别研究	專	教授	<令和4年10月> 博士(医学) 先端医科学特别研究
		西谷 美幸			西谷 美幸			西谷 美幸
		<令和4年4月> 博士(看護学)			<令和4年4月> 博士(看護学)			<令和4年4月> 博士(看護学)
専	教授	看護倫理 看護管理論 看護理論 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学特別研究 アドバンスプラクティス基礎実 習 I	専	教授	看護倫理 看護管理論 看護 理論 看護 ケアサイエンス学特論 I		教授	看護倫理 看護管理論 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I 種護ケアサイエンス学特別 研究
		八塚 美樹			八塚 美樹			八塚 美樹
		<令和4年4月> 修士(看護学)			<令和4年4月> 修士(看護学)			<令和4年4月> 修士(看護学)
専	教授	研シュニケー は 基準 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	專	教授	研究ション は	專	教授	研究ショニ では、

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任 兼担		氏 名
兼任 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	^{兼担・} 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別		(年 齢) <就任 (予定) 年日>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		安田 智美			安田 智美			安田 智美
		<令和4年4月> 修士(看護学)			<令和4年4月> 修士(看護学)			<令和4年4月> 修士(看護学)
専	教授	病態生理学 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイイエンス学特論 I 看護ケアサ学特論 I (病態生理) がん石芸護学特論 I (病態生理) がん石芸護学学特論 I (緩) が、一名 を受ける を受ける を受ける を受ける を受ける を受ける を受ける を受ける	専	教授	病看1 看工 看工 看工 看工 看看看看看看看看看看看在リー 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	專	教授	病看工程 東京 東京 東京 東京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
専	教授	長谷川 ともみ 〈令和4年4月〉 〈令和4年4月〉 〈令和4年 (「会社」 (「	申	教授	長谷川 ともみ (萌	教授	長谷川 ともみ
専	教授	比嘉 勇人 <令和4年4月> 博士(保健学) 臨床研究の計画法 コンサルテーション論 看護ケアサイエンス学特論 II 看護ケアサイエンス学特別研究 医療安全学	専	教授	比嘉 勇人 《令和4年4月〉 博士(保健学) 臨床研究の計画法 コンサルテーション論 看護ケアサイエンス学特論 Ⅱ 看護ケアサイエンス学特別 研究 医療安全学	専	教授	比嘉 勇人 《令和4年4月〉 博士(保健学) 臨床研究の計画法 コンサルテーション論 看護ケアサイエンス学特論 II 看護ケアサイエンス学特別 研究 医療安全学

専担任の別専	職名 教授	氏 名 (年 齢) (年 予定) 年月 > 保有学位等 担当授業科目名 田村 須賀子 (令和4年4月 > 博士(看護学) 総合護政策論 看護学詩論 I 地域域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専任担任の別専	職名 教授	氏(年) 第2 (年) 年 (日) 年 (日	専兼兼の事	職名 教授	氏(年) 年) 年 名 (年) 年 (千) 年 (千) 年 (千) 年 (千) 年 (千) 年 (千) 年 (十) 年 (1)
專	教授	金森 4年4)	専	教授	金森 昌彦 〈令和4年(医)〉 「博士 (中)	専	教授	金 本 4 年 学
専	教授	堀 悦郎 《令和4年4月〉 博士 (医学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用 心身健康科学 病態生理学 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学特別研究	専	教授	堀 悦郎 < 令和4年4月> 博士(医学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用心身健康科学病態生理学 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学特別 可以表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	専	教授	堀 悦郎 < 令和4年4月> 博士 (医学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用心身健康科学病態生理学 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学特別 I 看護ケアサイエンス学特別 研究

専任・	1		専任・		 	専任・	I	T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		細谷 健一			細谷 健一			細谷 健一
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士 (薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 薬剤学演習 薬科学特別研究			薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 薬剤学演習 薬科学特別研究			薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 薬剤学演習 薬科学特別研究
		久米 利明			久米 利明			久米 利明
	4/ 157	<令和4年4月> 博士(薬学)			<令和4年4月> 博士(薬学)		*** 155	<令和4年4月> 博士(薬学)
専	教授	中枢神経薬理学序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 応用薬理学演習 薬科学特別研究	専		中枢神経薬理学序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 応用薬理学演習 薬科学特別研究	専	教授	中枢神経薬理学序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 応用薬理学演習 薬科学特別研究
		友廣 岳則			友廣 岳則		<u> </u>	友廣 岳則
専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)	事	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 生体認識化学演習 薬科学特別研究			生物物理学序論 生物物理学特論 生体認識化学演習 薬科学特別研究			生物物理学序論 生物物理学特論 生体認識化学演習 薬科学特別研究
		櫻井 宏明			櫻井 宏明			櫻井 宏明
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学特論 がん細胞生物学演習 薬科学特別研究			分子細胞生物学特論 がん細胞生物学演習 薬科学特別研究			分子細胞生物学特論 がん細胞生物学演習 薬科学特別研究
		松谷 裕二			松谷 裕二			松谷 裕二
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授 (副 研究	<令和4年4月> 博士(薬学)
		分子化学特論 薬品製造学演習 薬科学特別研究			分子化学特論 薬品製造学演習 薬科学特別研究		科 長)	分子化学特論 薬品製造学演習 薬科学特別研究
		宗 孝紀			宗 孝紀			宗 孝紀
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 分子細胞機能学演習 薬科学特別研究			分子細胞生物学序論 分子細胞機能学演習 薬科学特別研究			分子細胞生物学序論 分子細胞機能学演習 薬科学特別研究
		矢倉 隆之			矢倉 隆之		1	矢倉 隆之
専	教授	<令和4年4月> 薬学博士	専	教授	<令和4年4月> 薬学博士	専	教授	<令和4年4月> 薬学博士
		分子化学序論 分子合成化学演習 薬科学特別研究			分子化学序論 分子合成化学演習 薬科学特別研究			分子化学序論 分子合成化学演習 薬科学特別研究
	<u> </u>					L	1	

	•						,	_
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		中野 実			中野 実			中野実
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 生物物理学序論 生物物理学特論	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 生物物理学序論 生物物理学特論	専	教授	<令和4年4月> 博士(工学) 生物物理学序論 生物物理学特論
		生体界面化学演習 薬科学特別研究			生体界面化学演習 薬科学特別研究			生体界面化学演習 薬科学特別研究
		水口 峰之			水口 峰之			水口 峰之
専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 構造生物学演習 薬科学特別研究			生物物理学序論 生物物理学特論 構造生物学演習 薬科学特別研究			生物物理学序論 生物物理学特論 構造生物学演習 薬科学特別研究
		酒井 秀紀			酒井 秀紀			酒井 秀紀
車	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	車	教授 (<mark>研</mark>	<令和4年4月> 博士(薬学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
- 1	4X1X	総合医薬学 薬学経済序論 分子生理学特論 薬物生理学演習 薬科学特別研究	寸	究科 長)	総合医薬学 薬学経済序論 分子生理学特論 薬物生理学演習 薬科学特別研究	1	1212	総合医薬学 薬学経済序論 分子生理学特論 薬物生理学演習 薬科学特別研究
		藤(中村) 秀人			藤(中村) 秀人			藤(中村) 秀人
		<令和4年4月> 博士(薬学)			<令和4年4月> 博士(薬学)			<令和4年4月> 博士(薬学)
専	教授	薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医療薬学演習 薬科学特別研究	専	教授	薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医療薬学演習 薬科学特別研究	専	教授	薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医療薬学演習 薬科学特別研究
		笹岡 利安			笹岡 利安			笹岡 利安
専	教授	<令和4年4月> 医学博士	専	教授	<令和4年4月> 医学博士	專	教授	<令和4年4月> 医学博士
		薬理薬剤学序論 薬理学特論 病態制御薬理学演習 薬科学特別研究			薬理薬剤学序論 薬理学特論 病態制御薬理学演習 薬科学特別研究			薬理薬剤学序論 薬理学特論 病態制御薬理学演習 薬科学特別研究
		橋本 征也			橋本 征也			橋本 征也
専	教授	<令和4年4月> 薬学博士	車	教授	<令和4年4月> 薬学博士	車	教授	<令和4年4月> 薬学博士
7	水 汉	薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究	7	1X1X	薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究	1	1/12	薬理薬剤学序論 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究
		新田 淳美			新田 淳美		1	新田 淳美
		<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)
専	教授	薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 薬物治療学演習 薬科学特別研究	専	教授	薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 薬物治療学演習 薬科学特別研究	専	教授	薬学経済序論 薬理薬剤学序論 薬理学特論 薬物治療学演習 薬科学特別研究

古バ		 	また	ı		声に	1	T
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		田口 雅登			田口 雅登			田口 雅登
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学) 臨床研究の計画法	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学) 臨床研究の計画法	専	教授	<令和4年4月> 博士 (薬学) 臨床研究の計画法
		臨床研究の計画法 薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 薬科学特別研究			職			薬物動態学特論 医薬品安全性学演習 実践薬学演習 薬科学特別研究
		加藤 敦			加藤 敦			加藤 敦
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		応用和漢医薬学序論 臨床薬剤学演習 薬科学特別研究			薬学経済序論 応用和漢医薬学序論 臨床薬剤学演習 薬科学特別研究			薬学経済序論 応用和漢医薬学序論 臨床薬剤学演習 薬科学特別研究
		大貫 義則			大貫 義則			大貫 義則
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		製剤設計学演習 薬科学特別研究			製剤設計学演習 薬科学特別研究			製剤設計学演習 薬科学特別研究
		森田 洋行			森田 洋行			森田 洋行
		<令和4年4月>			<令和4年4月>			<令和4年4月>
専	教授	博士(薬学)	専	教授	博士(薬学)	専	教授	博士 (薬学)
		分子設計学特論 天然物創薬学演習 薬科学特別研究			分子設計学特論 天然物創薬学演習 薬科学特別研究			分子設計学特論 天然物創薬学演習 薬科学特別研究
		東田 千尋			東田・千尋			東田・千尋
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		神経機能学演習 薬科学特別研究			神経機能学演習 薬科学特別研究			神経機能学演習 薬科学特別研究
		早川 芳弘			早川 芳弘			早川 芳弘
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 生体防御学演習 薬科学特別研究			分子細胞生物学序論 生体防御学演習 薬科学特別研究			分子細胞生物学序論 生体防御学演習 薬科学特別研究
		中川嘉			中川 嘉			中川 嘉
専	教授	<令和4年4月> 博士(農学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(農学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(農学)
		複雑系解析演習 薬科学特別研究			複雑系解析学演習 薬科学特別研究			複雜系解析学演習 薬科学特別研究
		小泉 桂一			小泉 桂一			小泉 桂一
専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	車	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
4	. ∡∨1X	応用和漢医薬学序論 分子細胞生物学特論 未病学演習 薬科学特別研究	1	XIX	応用和漢医薬学序論 分子細胞生物学特論 未病学演習 薬科学特別研究	4	XIVE	応用和漢医薬学序論 分子細胞生物学特論 未病学演習 薬科学特別研究

		主ル		1	士ル	1	I
職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
	柴原 直利			柴原 直利			柴原 直利
教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
	東洋医学特論 応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究			東洋医学特論 応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究			東洋医学特論 応用和漢医薬学序論 <mark>漢方診断学演習</mark> 薬科学特別研究
							庄司 翼
					Ģ	教授	<令和5年4月> 博士 (パイオサイエンス)
							資源科学演習 薬科学特別研究
	田渕 圭章			田渕 圭章			田渕 圭章
教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(薬学)
	遺伝子応用分析学特論 ゲノム機能解析演習 薬科学特別研究			遺伝子応用分析学特論 ゲノム機能解析演習 薬科学特別研究			遺伝子応用分析学特論 ゲノム機能解析演習 薬科学特別研究
	中島 敏			中島 敏			中島・敏
准教	<令和4年4月> 博士(医学)		准教	<令和4年4月> 博士(医学)		准教	<令和4年4月> 博士(医学)
授	解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習Ⅱ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	授	解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実 習Ⅱ	R	授	解剖生理病態学序論 解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究
	小澤 龍彦			小澤 龍彦			小澤 龍彦
准教	<令和4年4月> 博士(工学)	専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)	専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
按	基礎臨床医科学概論 生体防御医学序論 生体防御医学特論		按	基礎臨床医科学概論 生体防御医学序論 生体防御医学特論		按	基礎臨床医科学概論 生体防御医学序論 生体防御医学特論 <mark>先端医科学特別研究</mark>
	畑 由紀子			畑 由紀子			畑 由紀子
准教	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教	<令和4年4月> 博士(医学)
	社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究		投	社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究		授	社会医学序論 社会医学特論 先端医科学特別研究
	西丸 広史			西丸 広史			西丸 広史
准教	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
授	解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究			解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究			解剖生理病態学序論 先端医科学特別研究
	教	職名	職名	能名 (年年) (年年) (本) (日本) (本)	成名 名 (年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 2 年 2	展名 (本 年) 年月 東担	展名

		声圧	1	T	# I~		
職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任	•	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
	吉田 知之			吉田 知之			吉田 知之
准 势	<令和4年4月> 博士(医学)		准 茅	<令和4年4月> 博士(医学)		XE \$V-	<令和4年4月> 博士(医学)
担	分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論	専	授	分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論	· 申	授	分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 先端医科学特別研究 遺伝子応用分析学特論
	八木 邦公						
	<令和4年4月> 博士(医学)						
准教 授	基礎臨床医科学概論 高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス実習 I アドバンスプラクティス総合実 習						
	田尻和人			田尻和人			田尻和人
准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	專	上 准教	<令和4年4月> 博士(医学)
	基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
	牧野 輝彦			牧野 輝彦			牧野 輝彦
准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	專	上 准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
	東洋医学特論 先端医科学特別研究			東洋医学特論 先端医科学特別研究			東洋医学特論 先端医科学特別研究
	髙橋 努			髙橋 努			髙橋 努
准教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	<令和4年4月> 博士(医学)	専		<令和4年4月> 博士(医学)
10	臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究			臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究			臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
	小川 良平			小川 良平			小川 良平
准教 授	<令和4年4月> 博士(学術)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(学術)	專	上 准教 授	<令和4年4月> 博士(学術)
	分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究			分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究			分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
	深原 一晃			深原 一晃			深原 一晃
准教	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教	<令和4年4月> 博士(医学)	曹		<令和4年4月> 博士(医学)
授	基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究		授	基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究		授	基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
	准授 准授 准授 推授 教授 教授	職名	職名 (年)	本数 本数 本数 本数 上	成 名 (年 年) 4月	近く 年 第2 年月	長年 第2 年 1 日

兼担・		氏 名			~ ~		4任・		
兼任の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	₹担・ ₹任 ○別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		安田 剛敏			安田 剛敏	r			安田 剛敏
		<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)				<令和4年4月> 博士(医学)
専	授	感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス実習Ⅱ アドバンスプラクティス総合実 習	専	准教 授	感覚・運動・脳病態学序論感覚・運動・脳病態学序論感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究 アドバンスプラクティス特論 I アドバンスプラクティス 実習 I アドバンスプラクティス 窓 I アドバンスプラクティス総合実習		専	准教授	感覚・運動・脳病態学序論感覚・運動・脳病態学特論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研ティス特 アドバンスプラクティス実 I アドバンスプラクティス 習 I アドバンスプラクティス 習 I アドバンスプラクティス 音
		藤坂 実千郎			藤坂 実千郎	\vdash			藤坂 実千郎
專	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	<令和4年4月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
	1X	感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論		IX	感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論			īχ	感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
		廣田 弘毅			廣田 弘毅				廣田 弘毅
専	准教 授	<令和4年4月> 医学博士	専	准教 授	<令和4年4月> 医学博士		専	准教 授	<令和4年4月> 医学博士
		基礎臨床医科学概論			基礎臨床医科学概論				基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		猪又 峰彦			猪又 峰彦	 			猪又 峰彦
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		臨床研究の計画法			臨床研究の計画法				臨床研究の計画法 高度先進医療実践学序論 先端医科学特別研究
		仁井見 英樹			仁井見 英樹				仁井見 英樹
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		病態検査医学序論			病態検査医学序論				病態検査医学序論 <mark>先端医科学特別研究</mark>
		藤本 誠			藤本 誠	T			藤本 誠
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学特論			東洋医学特論				東洋医学特論 先端医科学特別研究

専任・	T		専任・		T T	走	∮任・		<u> </u>
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	東担・ 東任 D別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名		ļ		担当授業科目名
		若杉 雅浩		1	若杉 雅浩				
		<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)				
専	准教授	社会医学特論 高急蘇蘇生学特論 高急蘇蘇生学等理學等 多書危機管理習 でイスス実習 でイススププラクティスス アドババンスプラクティスス アドババンスプラクティスス でアドバンスプラクティス でアドバン でアドバン でアドバン でアドバン でアアドバン でアアドバン でアアドバン でアアドバン でアアドバン でアアドバン でアアドバン でで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、こ	専	准教 授	社会医学特論 実計論 大会医学特論 実計論 大会医学生学特論 大会医学等と 大学等を 大学等等 大学等等 大学等等 大学等 大学等 大学等 大学等 大学等 大学等				
		宮本 大祐			宮本 大祐	 			宮本 大祐
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士 (薬学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究			分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究				分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 先端医科学特別研究
	[赤井 卓也			赤井 卓也	Ī			赤井 卓也
専	准教	<令和4年4月> 博士(医学)	車	准教	<令和4年4月> 博士(医学)		車	准教	<令和4年4月> 博士(医学)
<u> </u>	授	基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究	4	授	基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究		-1F	授	基礎臨床医科学概論 感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
		北啓一朗			北啓一朗	f			北 啓一朗
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		フィジカルアセスメント 臨床推論 I 臨床推論 I			フィジカルアセスメント 臨床推論 I 臨床推論 I				フィジカルアセスメント 臨床推論 I 臨床推論 I
					山田 正明	Ī			山田 正明
			專	准教 授	<令和4年10月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年10月> 博士(医学)
			<u> </u>	_	先端医科学特別研究 甲斐田 大輔	-			先端医科学特別研究 甲斐田 大輔
			専	准教 授	イダロ 八報 <令和4年10月> 博士 (理学) 先端医科学特別研究		専	准教 授	< 令和 4 年10月 > 博士 (理学)
	\vdash				光端医科学特別研究 今村 輝彦	-			光壩医科字特別研究 今村 輝彦
			専	准教 授	<令和5年3月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和5年3月> 博士(医学)
					先端医科学特別研究				先端医科学特別研究
	_				長岡(健太郎				長岡健太郎
			専	准教 授	<令和4年10月> 博士 (医学)		専	准教 授	<令和4年10月> 博士(医学)
					生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究				生体防御医学序論 生体防御医学特論 先端医科学特別研究

士に	1		まけ			ま た	1	1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					米田 哲			米田 哲
			專	准教 授	<令和4年10月> 博士(医学)	專	准 教 授	<令和4年10月> 博士(医学)
					高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究			高度先進医療実践学特論 先端医科学特別研究
					山田 慎一			山田 慎一
			專	准教 授	<令和4年10月> 博士(歯学)	専	准教 授	<令和4年10月> 博士(歯学)
		吉井 美穂			先端医科学特別研究 吉井 美穂			先端医科学特別研究 吉井 美穂
		< 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学)			<令和4年4月> 博士(医学)			< 令和 4 年 4 月 > 博士 (医学)
専	准教	病態生理学	中	准教	病態生理学 臨床薬理学 看護ケアサイエンス学特論	専	准教	病態生理学 臨床薬理学 看護ケアサイエンス学特論 I
,	授	病態生理学 臨床薬理学 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I アドバンスプラクティス特論 I アドバンスプラクティス演習 I		授	看護ケアサイエンス学演習 I 看護ケアサイエンス学特別 研究 アドバンスプラクティス特 論 I アドバンスプラクティス演 習 I		授	看護ケアサイエンス学演習 I 看護ケアサイエンス学特別 研究 アドバンスプラクティス基 礎実習 I アドバンスプラクティス特論 I アドバンスプラクティス演
		坪田 恵子			坪田 恵子			習 I 坪田 恵子
		<令和4年4月> 博士(保健学)			<令和4年4月> 博士(保健学)			<令和4年4月> 博士(保健学)
専	准教 授	看護理論 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I	専	准教 授	看護理論 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I <mark>看護ケアサイエンス学特別</mark> 研究	専	准教 授	看護理論 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I 看護ケアサイエンス学特別 研究
		山田 理絵			山田 理絵			山田 理絵
		<令和4年4月> 博士(保健学)			<令和4年4月> 博士(保健学)			<令和4年4月> 博士(保健学) 看護管理論
専	准教授	看護管理論 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I アドバンスプラクティス特論 II アドバンスプラクティス演習 II	専	准教授	看護護 「	專	准教授	看記されています。 「大学演演等は、大学演演等は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で

専任・			専任・			専任	Ι.		
乗担・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼技	Ð∙ £	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		梅村 俊彰			梅村 俊彰				梅村 俊彰
		<令和4年4月> 博士(物理学)			<令和4年4月> 博士(物理学)				<令和4年4月> 博士(物理学)
		フィジカルアセスメント			フィジカルアセスメント 救急看護演習 看護ケアサイエンス学特論 エ				フィジカルアセスメント 救急看護演習 看護ケアサイエンス学特論 エ
専	准教 授	救急看護演習 看護ケアサイエンス学特論 I 看護ケアサイエンス学演習 I がん看護学特論 I (病態生理) がん看護実践演習 I (診断〜手術 後までの患者のリハビリテー ション) がん看護実践演習 II (薬物療法・ 放射線療法をうける患者のリハ	専	准教 授	看護ケアサイエンス学演習 I 看護ケアサイエンス学特別 研究 がん看護学特論 I (病態生理) がん看護実践演習 I (診断~手術後までの患者のリハビリテーション)	1	事	准教 授	看護ケアサイエンス学演習 I 看護ケアサイエンス学特別 研究 がん看護学特論 I (病態生理) がん看護実践演習 I (診断~手術後までの患者のリハビリテーション)
		ビリテーション) がん看護実践演習Ⅲ(緩和ケア・ 在宅療シン) がん看護学実習 I がん看護学実習 I フィジカルアセスメント特論			がん看護実践演習 I (薬物療法・放射線療法をありませる患者のリカリンのがの名 護実践である事者のリカリを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表				がん看護実践演習 I (薬物療法・放射線療法を患者がありませる) かん看護実践演習を見る I (薬物のリア・在 I (薬物のリア・在 I (薬物のリア・在 I (薬物のリア・在 I (薬物のリア・ I (薬物のリア・ I (薬物のリア・ I (薬物のリア・ I (薬物のリア・ I (薬物のリア・ I (薬物の)
		桶本 千史			桶本 千史				桶本 千史
		<令和4年4月> 修士(看護学)			<令和4年4月> 修士(看護学)				<令和4年4月> 修士(看護学)
専	准教 授	看護研究 母性看護学特論Ⅱ 小児看護学特論Ⅱ 小児看護学演習 周産期看護実践演習Ⅳ 周産期看護実習Ⅲ	専	准教 授	看護研究 母性看護学特論 I 小児看護学特論 I 小児看護学特論 I 母子看護学演習 周産期看護護実選 II 周産期看護実習 II 母子看護学特別研究	j	李	准教 授	看機会は 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の 一個の
		二川 香里			二川 香里				二川 香里
		<令和4年4月> 博士(保健学)			<令和4年4月> 博士(保健学)				<令和4年4月> 博士(保健学)
専	准教 授	看護されている。 看護されている。 看護されている。 看護されている。 看護されている。 有時には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	専	准教授	看看母母母問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問	1	与	准教授	看看母母母母問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問問
						L			

専任・		1	, r	声ル	ī		主に	T	1
乗担・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		笹野 京子				笹野 京子			笹野 京子
		<令和4年4月> 博士(保健学)				<令和4年4月> 博士(保健学)			<令和4年4月> 博士(保健学)
専	准教 授	看與性子 有與性看 實 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等		専	准教 授	看時報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	専	准教 授	看時報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報
	_	新鞍 真理子				新鞍 真理子			新鞍 真理子
専	准教 授	<令和4年4月> 修士(社会福祉学)(看護学)		専	准教 授	<令和4年4月> 修士(社会福祉学)(看護学)	専	准教 授	<令和4年4月> 修士(社会福祉学)(看護学)
		地域・老年看護学特論 II 地域・老年看護学演習 II				地域・老年看護学特論Ⅱ 地域・老年看護学演習Ⅱ 地域・老年看護学特別研究			地域・老年看護学特論Ⅱ 地域・老年看護学演習Ⅱ 地域・老年看護学特別研究
		髙倉 恭子				髙倉 恭子			高倉 恭子
		<令和4年4月> 博士(医学)				<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)
専	准教 授	健康生活研究計画法 臨床推論 Ⅱ アドバンスプラクティス特論Ⅲ アドバンスプラクティス演習 Ⅱ		専	准教 授	健康生活研究計画法 臨床推論 I 看護ケアサイエンス学特別 <mark>研究</mark> アドバンスプラクティス特 論Ⅲ アドバンスプラクティス演 習 II	専	准教 授	健康生活研究計画法 臨床推論 I 看護ケアサイエンス学特別 <mark>研究</mark> ボバンスプラクティス特 論 II アドバンスプラクティス演 習 II
		歌 大介				歌 大介			歌 大介
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学特論 薬科学特別研究				薬理学特論 薬科学特別研究			薬理学特論 薬科学特別研究
		谷本 裕樹				谷本 裕樹			谷本 裕樹
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
	•^	生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究				生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究		^^	生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
		横山悟				横山悟			横山 悟
専	准教 授	<令和4年4月> 増十(医学)		専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
	区	博士(医学) 分子細胞生物学特論 薬科学特別研究			īZ	博士(医学) 分子細胞生物学特論 薬科学特別研究		ΙZ	博士 (医学) 分子細胞生物学特論 薬科学特別研究
		業科字特別研究 千葉 順哉				業科字特別研究 千葉 順哉			業科字特別研究 千葉 順哉
	准教	<令和4年4月> 博士(理学)		-4	准教	<令和4年4月> 博士(理学)		准教	<令和4年4月> 博士(理学)
専	授	生物物理学序論 分子設計学特論 生物物理学特論 薬化学演習 薬科学特別研究		専	准 投	生物物理学序論 分子設計学特論 生物物理学特論 薬化学演習 薬科学特別研究	専	授	分子設計学特論 薬化学演習 薬科学特別研究

専任・	ı	T
寺仕・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任	融 夕	<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		杉本 健士
専	准教 授	< 令和 4 年 4 月 > 博士 (薬学)
	,,	分子化学特論
		薬科学特別研究
		田渕 明子
		<令和4年4月>
		博士(薬学)
専	准教 授	中枢神経遺伝子工学序論
		細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論
		遺伝子応用分析学特論 分子神経生物学演習
		薬科学特別研究
		廣瀬 豊
		<令和4年4月>
専	准教 授	博士(医学)
		遺伝子応用分析学特論
		遺伝情報制御学演習 薬科学特別研究
		守田 雅志
		/A和 4 左 4 日 \
専	准教 授	< 令和 4 年 4 月 > 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
		田浦 太志
		,
		<令和4年4月>
専	准教 授	博士(薬学)
	按	応用天然物化学序論 応用天然物化学特論
		薬用生物資源学演習 薬科学特別研究
		南部寿則
_	准教	<令和4年4月>
専	授	博士(薬学)
		分子化学序論
		※科学特別研究 池田 恵介
		,5m /6/1
専	¥+.±-	<令和4年4月>
	准教 授	博士(薬学)
		生物物理学序論 生物物理学特論
		薬科学特別研究
		帯田 孝之
		<令和4年4月>
専	准教 授	博士(薬学)
	ΤX	生物物理学序論
		生物物理学特論 薬科学特別研究

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	准教	杉本 健士 <令和4年4月>
専	授	博士(薬学) 分子化学特論
		薬科学特別研究 田渕 明子
		< 令和 4 年 4 月 > 博士 (薬学)
専	准教 授	中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 遺伝子応用分析学特論 分子神経生物学演習 薬科学特別研究
		廣瀬 豊
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		遺伝子応用分析学特論 遺伝情報制御学演習 薬科学特別研究
		守田雅志
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
		田浦 太志
専	准教	<令和4年4月> 博士(薬学)
	授	応用天然物化学序論 応用天然物化学序論 薬用生物資源学演習 薬科学特別研究
		池田 恵介
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
		生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
		帯田孝之
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
	IX	生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
4		·

		職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
-			杉本 健士
	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学) 分子化学特論 薬科学特別研究
-			田渕明子
	専	准教授	マ令和4年4月> 博士(薬学) 中枢神経遺伝子工学序論 細胞内シグナル伝達系序論 中枢神経薬理学序論 遺伝子応用分析学特論 分子神経生物学演習 薬科学特別研究
			廣瀬 豊
	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
			遺伝子応用分析学特論 遺伝情報制御学演習 薬科学特別研究 守田 雅志
			寸田 雅心
	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
			分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
ŧ	妊	講師	田浦 太志 <令和4年4月> 博士(薬学) 応用天然物化学序論 応用天然物化学特論
			16 m + 4
			池田 恵介 <令和4年4月>
	専	准教 授	博士(薬学)
			生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究
			帯田 孝之
	専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
			生物物理学序論 生物物理学特論 薬科学特別研究

まけ	Г	
専任・ 兼担・		氏 名
兼任		(年 齢) <就任 (予定) 年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		清水 貴浩
	\4L +/L	<令和4年4月>
専	准教 授	博士(理学)
		分子生理学特論
		薬科学特別研究
		恒枝 宏史
		<令和4年4月>
専	准教	博士(薬学)
守	授	10 = (30.17)
		薬理学特論 薬科学特別研究
		米符子付加则九
		當銘 一文
		田山 人
		<令和4年4月>
専	准教	博士 (薬学)
守	授	応用天然物化学序論
		応用和漢医薬学序論 応用天然物化学特論
		資源科学演習 薬科学特別研究
		条件字符別研究 AWALE SURESH
		AHALL SUNESH
		<令和4年4月>
専	准教 授	博士(薬学)
	X	応用天然物化学序論
		応用天然物化学特論 薬科学特別研究
		東田道久
		木口 坦入
	准教	<令和4年4月>
専	授	薬学博士
		応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究
		薬科学特別研究
		渡辺 志朗
		/今和 4 年 4 早 2
専	准教 授	<令和4年4月> 薬学博士
	^^	
		分子細胞生物学序論 薬科学特別研究
i	l	J.

専任・兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		清水 貴浩
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
		分子生理学特論 薬科学特別研究
		恒枝 宏史
		<令和4年4月>
専	教授	博士(薬学)
		薬理学特論 薬科学特別研究
		赤沼 伸乙
専	准教 授	<令和4年10月>
		博士 (薬学) 薬科学特別研究
		沖津 貴志
專	准教 授	<令和4年10月> 博士(薬学)
	-	分子化学序論 薬科学特別研究
		岡田 康太郎
專	准教 授	<令和4年10月> 博士(薬科学)
		製剤設計学演習 薬科学特別研究
		當銘 一文
		<令和4年4月> 博士(薬学)
専	准教 授	応用天然物化学序論
		応用和漢医薬学序論 応用天然物化学特論 資源科学演習
		薬科学特別研究
		AWALE SURESH
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(薬学)
	按	応用天然物化学序論 応用天然物化学特論
		薬科学特別研究 東田 道久
専	准教 授	<令和4年4月> 薬学博士
		応用和漢医薬学序論 薬科学特別研究
		渡辺 志朗
専	准教 授	<令和4年4月>
	13.	薬学博士
		分子細胞生物学序論

専任・兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		清水 貴浩
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
	12	分子生理学特論 薬科学特別研究
		恒枝 宏史
		<令和4年4月>
専	教授	博士(薬学)
		薬理学特論 臨床薬品作用学演習 薬科学特別研究
		赤沼 伸乙
專	准教 授	<令和4年10月> 博士(薬学)
		薬科学特別研究
	准教授	沖津 貴志
專		<令和4年10月> 博士(薬学)
		分子化学序論 薬科学特別研究
		岡田 康太郎
專	准教 授	<令和4年10月> 博士(薬科学)
		製剤設計学演習 薬科学特別研究
		當銘 一文
	νμ. ∌/L	<令和4年4月> 博士(薬学)
専	准教 授	応用天然物化学序論
		応用和漢医薬学序論 応用天然物化学特論 資源科学演習
		薬科学特別研究
		AWALE SURESH
専	准教	<令和4年4月> 博士(薬学)
	授	応用天然物化学序論 応用天然物化学特論
		応用天然物化学特論 薬科学特別研究
		東田道久
専	准教 授	<令和4年4月> 薬学博士
	,^	応用和漢医薬学序論
		薬科学特別研究
		薬科学特別研究 渡辺 志朗
専	准教	渡辺 志朗
専	准教 授	渡辺 志朗

専任・ 兼担・		氏 名
兼任		(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		奥牧人
		X 14/1
専	准教	<令和4年4月>
7	授	博士(情報理工学)
		データサイエンス特論 薬科学特別研究
		片桐 達雄
*	准教	<令和4年4月>
専	授	医学博士
		分子細胞生物学特論 生物学演習
		薬科学特別研究
		山本 誠士
		<令和4年4月>
専	講師	博士(医学)
		解剖生理病態学特論
		城宝 秀司
		<u> </u>
専	講師	<令和4年4月>
- 1	神매	博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		柚木 達也
l _	-#-4	<令和4年4月>
専	講師	学士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論
		先端医科学特別研究
		西山 直隆
		<令和4年4月>
専	講師	博士(医学)
		基礎臨床医科学概論
		先端医科学特別研究 三澤 恵
		二净思
車	達尓	<令和4年4月>
守	講師	博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
		樋口 悠子
		<令和4年4月>
専	講師	博士(医学)
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論
L		先端医科学特別研究

専任・		氏 名
兼担・ 兼任		(年 齢) (末 齢) (末 (予定) 年月>
の別	職名	へ就任(ア廷)年月/2 保有学位等
		担当授業科目名
		奥 牧人
		/ 本和 4 年 4 日 \
専	准教 授	< 令和 4 年 4 月 >
		データサイエンス特論
		薬科学特別研究 片桐 達雄
*	准教	<令和4年4月>
専	授	医学博士
		分子細胞生物学特論 生物学演習
		薬科学特別研究
		金一俊達
專	准教	<令和4年10月>
	授	博士(生物工学)
		薬科学特別研究
		山本 誠士
	准教	│ <令和4年4月>
専	授	博士(医学)
		解剖生理病態学特論
		城宝 秀司
		<令和4年4月>
専	講師	博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		柚木 達也
		<令和4年4月>
専	講師	学士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論
		先端医科学特別研究
		西山 直隆
		<令和4年4月>
専	講師	博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		三澤恵
		/A10.4 / . 5 \
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学特論
		先端医科学特別研究
		樋口 悠子
		<令和4年4月>
専	講師	博士(医学)
		臨床行動科学序論
		臨床行動科学特論 先端医科学特別研究
<u></u>		

+ 1-		T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		奥 牧人
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(情報理工学) データサイエンス特論
		薬科学特別研究
	`#+ #L	片桐 達雄 <令和4年4月>
専	准教 授	医学博士
		分子細胞生物学特論 生物学演習 薬科学特別研究
		金俊達
專	准教 授	<令和4年10月> 博士(生物工学)
		薬科学特別研究 山本 誠士
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(医学)
		解剖生理病態学特論 先端医科学特別研究
		柚木 達也
専	講師	<令和4年4月> 学士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
		西山 直隆
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		三澤恵
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		東洋医学特論 先端医科学特別研究
		樋口 悠子
1		1
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
専	講師	

		1	+ 1-			+ 1-		T
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
								担当技术行口石
		古市厚志			古市 厚志			
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)			
		臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究			臨床行動科学序論 臨床行動科学特論 先端医科学特別研究			
		奥村 知之			奥村 知之			奥村 知之
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究			基礎臨床医科学概論 先端医科学特別研究
		三原 美晴			三原 美晴			三原 美晴
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究			感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究			感覚・運動・脳病態学序論 感覚・運動・脳病態学特論 先端医科学特別研究
					松村 健太			松村 健太
			專	講師	<令和4年10月>	專	講師	<令和4年10月>
					博士 (文学)			博士(文学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					道合 万里子			道合 万里子
			專	講師	博士(医学)	専	講師	博士(医学)
					病態検査医学特論 先端医科学特別研究			病態検査医学特論 先端医科学特別研究
					小野田 聡			小野田 聡
			専	講師	<令和4年10月>	專	講師	<令和4年10月>
					博士 (医学)			博士(医学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
								笹林 大樹
								/Atreteens
						専	講師	<令和5年5月>
								博士 (医学) 先端医科学特别研究
					鈴木 悟子	-		光端医科子特别研究 鈴木 悟子
					一 一			神不 頂丁
					<令和4年10月>			<令和4年10月>
			専	講師	博士(看護学)	專	講師	博士 (看護学)
					地域・老年看護学特論 I			地域・老年看護学特論 I
					地域・老年看護学演習 I 地域・老年看護学演習 I 地域・老年看護学特別研究			地域・老年看護学演習 I 地域・老年看護学演習 I 地域・老年看護学特別研究
		和田 努			和田 努			和田 努
専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	専	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学特論 薬科学特別研究			薬理学特論 薬科学特別研究			薬理学特論 薬科学特別研究

また			まけ	1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	また	1	T
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								李 貞範
							講師	<令和5年4月> 博士(薬学)
								応用天然物化学序論 応用天然物化学特論 薬用生物資源学演習 植物機能科学演習 薬科学特別研究
		竹内 勇一			竹内 勇一			
専	助教	<令和4年4月> 博士(理学)	専	助教	<令和4年4月> 博士(理学)			
		解剖生理病態学序論			解剖生理病態学序論			
		野本 真順			野本 真順			野本真順
		<令和4年4月>			<令和4年4月>			<令和4年4月>
専	助教	博士(バイオサイエンス)	専	助教	博士(バイオサイエンス)	専	助教	博士(バイオサイエンス)
		分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論			分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 <mark>先端医科学特別研究</mark>			分子ゲノム医科学序論 分子ゲノム医科学特論 <mark>先端医科学特別研究</mark>
		NAWAZ ALLHA			NAWAZ ALLHA			
専	助教	<令和4年4月> 博士(医学)	事	助教	<令和4年4月> 博士(医学)			
		病態薬理学序論 病態薬理学特論			病態薬理学序論 病態薬理学特論			
		夜久 圭介			夜久 圭介			夜久 圭介
		人 会和 4 年 4 日 N			/ 会和 4 年 4 日 >			/A和4年4日\
専	助教	<令和4年4月> 博士(生活科学)	専	助教	<令和4年4月> 博士(生活科学)	専	助教	<令和4年4月> 博士(生活科学)
		病態薬理学序論 病態薬理学特論			病態薬理学序論 病態薬理学特論 <mark>先端医科学特別研究</mark>			病態薬理学序論 病態薬理学特論 <mark>先端医科学特別研究</mark>
		箭原 康人						
専	助教	<令和4年4月> 博士(医学) 病態薬理学序論						
		病態薬理学特論			中村 友也			中村 友也
			專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)	専	助教	<令和4年10月> 博士(医学)
			1		先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					瀬戸川剛			瀬戸川 剛
			專	助教	<令和 4 年10月>	專	助教	<令和 4 年10月>
			1		博士(神経科学)			博士(神経科学)
					先端医科学特別研究 松本 惇平			先端医科学特別研究 松本 惇平
					14年 洋工			144 FT
			專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)	專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)
			1		先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					元编区件子符 冽妍先	<u> </u>		元编区件手特別研究

専任・			また	1		まけ	1	T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					鈴木 章円			鈴木 章円
			專	助教	<令和4年10月> 博士(農芸化学)	專	助教	<令和4年10月> 博士(農芸化学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					山田 博司			山田 博司
			專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)	專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					内田 仁司			内田 仁司
				DL 46.	<令和4年10月>		D.L. #81.	<令和4年10月>
			専	助教	博士(歯学)	専	助教	博士(歯学)
					病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究			病態薬理学序論 病態薬理学特論 先端医科学特別研究
					立瀬 剛志			立瀬 剛志
			專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)	專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					川筋(仁史			川筋 仁史
					川助 仁文			川肋 仁文
			專	助教	<令和4年10月>	專	助教	<令和4年10月>
					博士(医学)			博士(医学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
								中島 英
						車	助教	<令和5年4月>
							-00 100	博士(医学)
								先端医科学特別研究
								和田 侑星
								州四 特生
						專	助教	<令和5年4月>
								博士(医学)
								先端医科学特別研究
								山本 修輔
						專	助教	<令和5年4月>
								博士 (医学)
								先端医科学特別研究
					頭川 峰志			頭川 峰志
			專	助教	<令和4年10月>	專	助教	
					博士(医学)			博士 (医学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
_					松尾 光浩			松尾 光浩
			專	助教	<令和4年10月>	專	助教	
					博士(薬学)			博士(薬学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
					亀山 暁世			亀山 暁世
				助教	<令和4年10月> 博士(医学)	專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)
					先端医科学特別研究			先端医科学特別研究
			<u> </u>	<u> </u>	元编区符 子符別研究	<u> </u>		元编四件手符別研究

専任・		氏 名
兼担・ 兼任		(年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月>
,,,,		保有学位等
		担当授業科目名
		2-22114
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士(医学)
		救急看護演習
		山城 清二
		<令和4年4月>
兼担	教授	疫学修士
		7.3544767434
		フィジカルアセスメント 臨床推論 I
		宮島 光志
兼担	教授	<令和4年4月>
		文学修士
		研究倫理 看護倫理
		豊岡 尚樹
		호삐 비떱
		<令和4年4月>
兼担	教授	薬学博士
		研究倫理
		データサイエンス特論
		上原 雄史
兼担	教授	<令和4年4月>
		修士(工学)
		科学技術と持続可能社会
		張 勁
┷┅	₩ □	<令和4年4月>
兼担	教授	博士(理学)
		龍 世祥
兼担	教授	<令和4年4月>
FIIN 222		博士(学術)
		円本 (子門) 科学技術と持続可能社会
		和田直也
兼担	教授	<令和4年4月>
VV 12	XIVE	博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会
		14 丁汉刚 C 付视 U 能任云

専任・ 兼担・		氏 名
兼担 •		(年齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		梶浦 新也
_	DL ML	/ 全和 4 年10日 >
専	助教	< 令和 4 年10月> 博士(医学)
		先端医科学特別研究
		大田 美香
專	助教	<令和4年10月>
		博士(栄養学)
		先端医科学特別研究
		乙宗 宏範
		2 A 40 4 F 10 E N
専	助教	<令和4年10月>
		博士 (医学) 先端医科学特別研究
		光端区科学特别研究 奥寺 敬
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士 (医学)
		救急看護演習
		山城 清二
		│ <令和4年4月>
兼担	教授	疫学修士
NV1E	10.10	フィジカルアセスメント
		臨床推論 I
		プライマリ・ケア特論
		宮島 光志
		/ A TR 4 F 4 F >
兼担	教授	<令和4年4月> 文学修士
		研究倫理
		看護倫理
		豊岡 尚樹
兼担	教授	<令和4年4月>
		薬学博士
		研究倫理 データサイエンス特論
		上原が建立の特別を
兼担	教授	<令和4年4月>
		修士(工学)
		科学技術と持続可能社会 張 勁
		1/4 XII
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士(理学)
		科学技術と持続可能社会
		龍一世祥
兼担	教授	<令和4年4月>
水担		「「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」
		PT (字例) 科学技術と持続可能社会
		和田 直也
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士 (環境科学)
		科学技術と持続可能社会

		T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	助教	梶浦 新也 <令和4年10月>
		博士(医学)
		先端医科学特別研究
		大田 美香
專	助教	<令和4年10月>
		博士(栄養学)
		先端医科学特別研究
		乙宗宏範
專	助教	<令和4年10月> 博士(医学)
		先端医科学特別研究
		奥寺 敬
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士(医学)
		救急看護演習
		山城 清二
		<令和4年4月>
兼任	教授	疫学修士
		フィジカルアセスメント プライマリ・ケア特論
		宮島 光志
兼担	教授	<令和4年4月>
×11×3=	12.12	文学修士
		研究倫理 看護倫理
		豊岡 尚樹
 #+□	₩₩	<令和4年4月>
兼担	教授	薬学博士
1		研究倫理
<u></u>		データサイエンス特論
1		上原 雄史
兼担	教授	<令和4年4月>
WIE	大1又	修士(工学)
1		科学技術と持続可能社会
		張勁
兼担	教授	<令和4年4月>
1		博士(理学)
<u> </u>		科学技術と持続可能社会
1		龍 世祥
兼担	教授	<令和4年4月>
水担	拟汉	博士(学術)
1		博士 (字術) 科学技術と持続可能社会
 		科字技術と持続可能任法 和田 直也
1		тиш шш
兼担	教授	<令和4年4月>
NV 1	10.10	博士(環境科学)
1		科学技術と持続可能社会
<u> </u>	l	ロコスmと内拠ら脱圧式

専任・		氏 名
兼担・		(年齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>
נית כט	- 現七	保有学位等
		—————————————————————————————————————
		山﨑 けい子
		<令和4年4月>
兼担	教授	Master of Science in
		Education (M.S.Ed.) degree.(米国)
		研究者としてのコミュニケー
		ション: 基礎と応用
		内田 和美
		<令和4年4月>
兼扫	教授	芸術学士
水坦	扒又	
		研究者としてのコミュニケー
		ション: 基礎と応用 アート・デザイン思考
<u> </u>		
		モヴシュク オレクサンダー
l		
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士(経済学)
		データサイエンス特論
		藤田 安啓
兼担	教授	<令和4年4月>
		学術博士
		データサイエンス特論
		中村 和之
兼担	教授	<令和4年4月>
水坦	扒又	修士(経済学)
		大学院生のためのキャリア形成
		大学院主のためのキャッケル版
		田端 俊英
		<令和4年4月>
兼担	教授	博士(医学)
		英語論女佐は す
		英語論文作成 I 英語論文作成 II
		知的財産法
		井上 将彦
兼担	教授	<令和4年4月>
		工学博士
		薬学経済序論
		ヨフコバ四位 エレオノラ
兼担	教授	<令和4年4月>
NV 1-	XIX	博士(学術)
		日本語・日本文化
<u> </u>		ログロ ログスル

専任・		rt. 47
兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任	100 万	<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		—————————————————————————————————————
		山﨑 けい子
		<令和4年4月>
兼担	教授	Master of Science in Education (M.S.Ed.)
		degree.(米国)
		研究者としてのコミュニ
		ケーション: 基礎と応用
		内田 和美
		<令和4年4月>
兼担	教授	芸術学士
		研究者としてのコミュニケーション・ 基礎と応用
		ケーション: 基礎と応用 アート・デザイン思考
		エボシーカーナーカサング
		モヴシュク オレクサンダー
a4 15		145-15-15
兼担	教授	<令和4年4月>
		博士 (経済学)
		データサイエンス特論
		藤田安啓
兼担	教授	<令和4年4月>
		学術博士
		データサイエンス特論
		中村和之
兼担	教授	<令和4年4月>
N/IE	2017	修士(経済学)
		大学院生のためのキャリア
		形成
		田端 俊英
		形成
兼担	教授	田端 俊英
兼担	教授	田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英 <令和4年4月>
兼担	教授	形成 田端 俊英 <令和4年4月> 博士(医学) 知的財産法
兼担	教授	形成 田端 俊英 <令和4年4月> 博士(医学)
兼担	教授	形成 田端 俊英 <令和4年4月> 博士(医学) 知的財産法
兼担	教授	形成 田端 俊英 <令和4年4月> 博士(医学) 知的財産法
		形成 田端 俊英 《令和4年4月》 博士(医学) 知的財産法 井上 将彦
		形成 田端 俊英 《令和4年4月〉 博士(医学) 知的財産法 井上 将彦 《令和4年4月〉
		形成 田端 俊英 《令和4年4月〉 博士(医学) 知的財産法 井上 将彦 《令和4年4月〉 工学博士
		形成 田端 俊英 《令和4年4月〉 博士(医学) 知的財産法 井上 将彦 《令和4年4月〉 工学博士 薬学経済序論
		形成 田端 俊英 《令和4年4月〉 博士(医学) 知的財産法 井上 将彦 《令和4年4月〉 工学博士 薬学経済序論
兼担	教授	形成 田端 俊英 <令和4年4月> 博士 (医学) 知的財産法 井上 将彦 <令和4年4月> 工学博士 薬学経済序論 ヨフコパ四位 エレオノラ <令和4年4月>
兼担	教授	形成 田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英
兼担	教授	形成 田端 俊英

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山﨑 けい子
兼担	教授	<令和4年4月> Master of Science in Education (M.S.Ed.) degree.(米国) 研究者としてのコミュニ ケーション: 基礎と応用
		内田和美
兼担	教授	< 令和 4 年 4 月 > 芸術学士 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用アート・デザイン思考
		モヴシュク オレクサンダー
兼担	教授	そうシェク オレクリンター <令和4年4月> 博士(経済学) データサイエンス特論
		藤田 安啓
兼担	教授	<令和4年4月> 学術博士 データサイエンス特論
		中村 和之
兼担	教授	<令和4年4月> 修士(経済学) 大学院生のためのキャリア 形成
		田端 俊英
兼担	教授	<令和4年4月> 博士(医学) 知的財産法
兼担	教授	井上 将彦 《令和4年4月》 工学博士
		薬学経済序論 ヨフコバ四位 エレオノラ
兼担	教授	マラコハ日田 エレカック マラス マラス 4年4月> 博士 (学術) 日本語・日本文化
		高村 昭輝
專	教授	< 令和4年4月> 博士(医学) プライマリ・ケア特論 先端医科学特別研究

### ### ### #########################			
(年)	専任・		氏 名
((年齢)
#担		啦 夕	<就任(予定)年月>
#担	נימ כט	- 現七	保有学位等
#担			HUV 전 뿐 AU CL A
#担			
#担 推授 博士 (医学) 接対			石木 学
#担 推授 博士 (医学) 接対			
#担 接担 を			<令和4年4月>
兼担 推教 上本教 上工 上工 上本教 上工 上本教 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上	兼担		博士(医学)
#担		12	
#担			
#担			アトハンスフラクティス美省Ⅰ
#担			沖野 浩二
#担 接			
接 接 接 接 接 接 接 接 接 接	兼扣		<令和4年4月>
#担	2110.3	授	
港担 推教 (全)			
#担			
#担 授			心田 入伯
#担 授	** 10	准教	/ATR 4 7 4 7 5
兼担 推教 接担 上述 上述 上述 上述 上述 上述 上述 上	兼担		
#担			
#担			科学技術と持続可能社会
#担 授			野田 秀孝
#担 授		\# ≠L	
修士(福祉マネジメント) 地域共生社会特論 有田 行男 (令和4年4月>) (事士(芸術工学) アート・デザイン思考 春木 孝之 (令和4年4月) 博士(工学) データサイエンス特論 (令和4年4月) 博士(工特論) データサイエンス特論 長間 (令和4年4月) 博士(工特論) データサイエンス特論 (令和4年4月) 博士(五大特論) (令和4年4月) (令和4年4月) (令和4年4月) (令和4年4月) (を士(経営学)) 研究者とし基準 (可定者と) (日本教授) (日本教授)	兼担		<令和4年4月>
#担		12	修士(福祉マネジメント)
#担			地域共生社会特論
#担 授			有田 行男
#担 授			
#担	兼扣		<令和4年4月>
兼担 准教 様担 <令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 参沢 匡将 様数 <令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 長岡 亮 株数 <令和4年4月> 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 「データサイエンス特論 尾山 真 「マのカイを4月> 「大力・大力・大力・大力・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	71143_	授	
兼担 准教授 (令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 参沢 匡将 (令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 長岡 亮 (令和4年4月> 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 (令和4年4月> 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用			
兼担 准教 接担 < 令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 参沢 匡将 参沢 匡将 < 令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 長岡 亮 (令和4年4月> 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 < 令和4年4月> 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用			
兼担 授 (令和4年4月> 情主(工学) データサイエンス特論 参沢 匡将 参沢 匡将 《令和4年4月>情主(工学) データサイエンス特論 長岡 亮 《令和4年4月>情主(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 《令和4年4月> 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用			有小 子之
接	兼 扣	准教	/ 今 和 4 年 4 日 >
兼担 准教 授 < 令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 長岡 亮 長岡 亮 株教 授 < 令和4年4月> 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 尾山 真 水土(経営学) (経営学) 研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用	水坦	授	
#担			
兼担 准教 授 <令和4年4月> 博士(工学) データサイエンス特論 長岡 亮 長岡 亮 **** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *			
#担 授			
#担 授	JE 1-	准数	
ボータサイエンス特論 長岡 亮 本教授 「マラサイエンス特論 「マラサイエンス特論 「エクリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	兼担		
兼担 准教 授 <令和4年4月> 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 尾山 真 <令和4年4月> 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用			
兼担 准教 授 < 令和4年4月> 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 ペ令和4年4月> 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用			
乗担 授 (令和4年4月) 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 <令和4年4月〉 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用			長岡・亮
乗担 授 (令和4年4月) 博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 <令和4年4月〉 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用		准数	
博士(医工学) データサイエンス特論 尾山 真 《令和4年4月》 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用	兼担		<令和4年4月>
乗山 真 <令和4年4月> 修士(経営学) 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用			
**** ** (全年4月> ** (経営学) ** (経営学) ** 研究者としてのコミュニケーション: 基礎と応用	L		データサイエンス特論
兼担			尾山真
兼担			
兼担			<令和4年4月>
乗担 / 授	.	准数	
ション: 基礎と応用	兼担		
八子阪主のにめのキャリア形成			
			八子院工いにののサヤリナ形队

専任・		氏 名
兼担・		(年齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>
رار رن	40.10	保有学位等
		担当授業科目名
		石木 学
	准教	<令和4年4月>
兼担	授	博士(医学)
		疾病・臨床病態概論
		アドバンスプラクティス実
		習 I
		沖野 浩二
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
		修士(工学)
		研究倫理
		池田 丈佑
	准教	
兼担	准教 授	<令和4年4月>
		博士 (国際公共政策)
		科学技術と持続可能社会
		野田 秀孝
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
		修士(福祉マネジメント)
		地域共生社会特論
		有田 行男
	<i>\</i> # #L	
兼担	准教 授	<令和4年4月>
		修士 (芸術工学)
		アート・デザイン思考
		春木 孝之
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
		博士(工学)
		データサイエンス特論
		参沢 匡将
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
		博士(工学)
		データサイエンス特論
		長岡・亮
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
		博士(医工学)
		データサイエンス特論
		尾山 真
		<令和4年4月>
兼担	准教	修士(経営学)
	授	研究者としてのコミュニ
		ケーション: 基礎と応用
		大学院生のためのキャリア 形成
		吉川(仲村) 朋子
兼担	准教	<令和4年4月>
1	授	博士(理学)
1		英語論文作成 I 英語論文作成 II

	7	
専任・		氏 名
兼担・		(年齢)
兼任 の別	職名	<就任 (予定) 年月>
נית כט	41以1口	保有学位等
		担当授業科目名
		石木 学
		<令和4年4月>
兼担	准教	博士(医学)
NV1E	授	疾病・臨床病態概論
		アドバンスプラクティス実
		習I
		プライマリ・ケア特論
		沖野 浩二
	\#_#L	
兼担	│ 准教 │ 授	<令和4年4月>
	,^	修士 (工学)
		研究倫理
		池田 丈佑
1		
兼担	准教	<令和4年4月>
WIE	授	博士 (国際公共政策)
<u> </u>		科学技術と持続可能社会
1		野田 秀孝
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
		修士(福祉マネジメント)
		地域共生社会特論
		有田 行男
兼担	准教 授	<令和4年4月>
	13	修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
		春木 孝之
		144 7.2
兼担	准教	<令和4年4月>
NV1E	授	博士(工学)
		データサイエンス特論
1		参沢 匡将
	准教	
兼担	授	<令和4年4月>
1		博士(工学)
L		データサイエンス特論
		長岡 亮
1		
兼担	准教 授	<令和4年4月>
	13	博士(医工学)
1		データサイエンス特論
		尾山 真
1		7.H 7.
1		<令和4年4月>
1		
兼担	准教 授	修士(経営学)
1	1×	研究者としてのコミュニ
		ケーション: 基礎と応用
		大学院生のためのキャリア 形成
		112 194
1		吉川(仲村) 朋子
1		
兼担	准教	<令和4年4月>
水型	授	博士(理学)
1		英語論文作成 I
1		英語論文作成 I 英語論文作成 II
-		

専任・			専任・			専任・	1	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		澤 聡美			澤 聡美			澤 聡美
兼担	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	兼担	講師	<令和4年4月> 博士(医学)	兼担	講師	<令和4年4月> 博士(医学)
		心身健康科学			心身健康科学			心身健康科学
		松田 愛			松田 愛			松田 愛
兼担	講師	<令和4年4月>	兼担	講師	<令和4年4月>	兼担	准教 授	<令和4年4月>
		修士(文学)			修士(文学)			修士(文学)
		アート・デザイン思考			アート・デザイン思考			アート・デザイン思考
		長田 堅二郎			長田 堅二郎			長田 堅二郎
兼担	講師	<令和4年4月> 修士(美術学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(美術学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(美術学)
		アート・デザイン思考			アート・デザイン思考			アート・デザイン思考
		岡本 知久			岡本 知久			岡本 知久
兼担	講師	<令和4年4月>	兼担	講師	<令和4年4月>	兼担	講師	<令和4年4月>
		修士(芸術工学)			修士(芸術工学)			修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考			アート・デザイン思考			アート・デザイン思考
		籔谷 祐介			籔谷 祐介			籔谷 祐介
兼担	講師	<令和4年4月>	兼担	講師	<令和4年4月>	兼担	講師	<令和4年4月>
		博士 (デザイン学) アート・デザイン思考			博士(デザイン学) アート・デザイン思考			博士 (デザイン学) アート・デザイン思考
		, , , , , , , , , , , ,			朴 銀鏡			朴 銀鏡
					4.1. NOT NOG			TT SEX SEC
			** 40	ent écr	<令和4年4月>	***	Edit Acc	<令和4年4月>
			兼担	講師	Ph. D. (高エネルギー物理学)	兼担	講師	Ph. D. (高エネルギー物理学)
					英語論文作成 I 英語論文作成 Ⅱ			英語論文作成 I 英語論文作成 I
		朴木 久惠			朴木 久惠			
		<令和4年4月>			<令和4年4月>			
兼担	助教	学士 (医学)	兼担	助教	学士(医学)			
NK 1	-33 JA	アドバンスプラクティス実習 I アドバンスプラクティス総合実 習		23.3%	アドバンスプラクティス実 習 I アドバンスプラクティス総 合実習			
		小池 勤			小池 勤			小池 勤
		<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)			<令和4年4月> 博士(医学)
兼担	助教	博士 (医学) アドバンスプラクティス特論 アドバンスプラクティス演習 アドバンスプラクティス実習 アドバンスプラクティス総合実 アドバンスプラクティス総合実	兼担	助教	博士(医子) アドバンスプラクティス特 論 II アドバンスプラクティス演 習 II アドバンスプラクティス実 習 II アドバンスプラクティス総	兼担	助教	PT (医学) アドバンスプラクティス特論 I アドバンスプラクティス演習 I アドバンスプラクティス実習 I アドバンスプラクティス総
					合実習			合実習

専任・			専任・	I	1	亩	壬•		
兼担・		氏 名	兼担・		氏 名		担・		氏 名
兼任		(年齢)	兼任		(年齢)	兼	_		(年齢)
の別	職名	<就任(予定)年月>	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の!		職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		保有学位等 ————————————————————————————————————			体有子位寺				体件子证守
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		川上 正晃			川上 正晃				川上 正晃
		<令和4年4月>			<令和4年4月>				<令和4年4月>
		博士(医学)			博士(医学)				博士(医学)
					アドバンスプラクティス特				アドバンスプラクティス特
兼担	助教	 アドバンスプラクティス特論Ⅱ 	兼担	助教	論Ⅱ	兼	担	助教	論Ⅱ
		アドバンスプラクティス荷舗II アドバンスプラクティス演習 II			アドバンスプラクティス演				アドバンスプラクティス演
		アドバンスプラクティス実習Ⅱ			習Ⅱ アドバンスプラクティス実				習 Ⅱ アドバンスプラクティス実
		アドバンスプラクティス総合実			習Ⅱ				習Ⅱ
		習			アドバンスプラクティス総				アドバンスプラクティス総
					合実習				合実習
		Shishir Sharmin			Shishir Sharmin				Shishir Sharmin
		om om one min			On on one one				On on one one
兼担	助教	<令和4年4月>	兼担	助教	<令和4年4月>	並	₹担	助教	<令和4年4月>
水坦	列叙	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	水坦	助软		71	111	则叙	
		博士(環境科学)			博士(環境科学)				博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会			科学技術と持続可能社会				科学技術と持続可能社会
		中村 征樹			中村 征樹				中村 征樹
兼任	講師	<令和4年4月>	兼任	講師	<令和4年4月>	兼	任	講師	<令和4年4月>
		博士(学術)			博士(学術)				博士(学術)
		研究倫理			研究倫理				研究倫理
		岸本 充生			岸本 充生				岸本 充生
兼任	講師	<令和4年4月>	兼任	講師	<令和4年4月>	兼	€任	講師	<令和4年4月>
		博士(経済学)			博士 (経済学)				博士 (経済学)
		科学技術と持続可能社会			科学技術と持続可能社会				科学技術と持続可能社会
		平川 秀幸			平川 秀幸				平川 秀幸
兼任	講師	<令和4年4月>	兼任	講師	<令和4年4月>	美	₹任	講師	<令和4年4月>
		博士(学術)			博士(学術)				博士(学術)
		科学技術と持続可能社会			科学技術と持続可能社会				 科学技術と持続可能社会
		山崎・登志成			17 アス間で内が引化性女	\vdash			17. 17. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10
		四個 显心热							
		<令和4年4月>							
兼任	講師	マラ和4年4月 <i>ノ</i> 工学博士							
		- 7 14 -							
		英語論文作成Ⅰ							
		英語論文作成Ⅱ	-			<u> </u>			1 M =
		大谷 嘉一			大谷 嘉一				大谷 嘉一
並 / ・	≘井 台工	/A=1 4 E 4 B \	# 17	≘曲台士	/公和 4 左 4 目 \	ب <i>ب</i> د	: /-	き生みエ	/ 今和 4 年 4 日 2
兼任	講師	<令和4年4月>	兼任	講師	<令和4年4月>		€任	講師	
		工学士			工学士				工学士
		知的財産法	-		知的財産法	<u> </u>	_		知的財産法
		赤坂 彰彦			赤坂 彰彦				赤坂 彰彦
兼任	講師	<令和4年4月>	兼任	講師	<令和4年4月>	#	₹任	講師	<令和4年4月>
\v IT	יוים ניום	修士(工学)	WIT	마나	修士(工学)		\ I_	יוים 141	修士(工学)
		知的財産法			知的財産法				知的財産法
		かまり 対 圧 広			州印州庄本	L			から

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 ・ その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリの授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに事任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
10	7	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学院】

	設置時の計画									現在(報告時)の状況							
教力	受	准	教授	講(師	助教	計 (A)	助手 (A')	教	授	准教	授	講館	币	助教	計 (B)	助手 (B')
68			50	10		5	133	0	77		55	5	13		19	164	0
(68))	((48)	(10))	(4)	(130)	(0)									
研究 指導 数	う <i>ち</i>	5教	研究指 教員			養のみ担当 D教員数			研究 指導 数	うち 授	教	完指 教員			も のみ担当 の教員数		
70 (70)	6 (6		(3	57 (5)		26 (25)			83	76	6	7	9		2		
H					の	完成年度時	<u>/</u> の状況				現	!在(報告時)	の5	完成年度時	<u>/</u> の計画	
教技	受	准	教授	講	币	助教	計 (C)	助手 (C')	教	受	准教	授	講師	π	助教	計 (D)	助手 (D')
77			55	13		19	164	0	77		55	5	13		19	164	0
[9]	[5]	[3]	[14]	[31]	[0]	[9]	[5]	[3]]	[14]	[29]	[0]
研究 指導 教員 数	う <i>ち</i> 授	5教	研究指 教員			義のみ担当 の教員数			研究 指導 教 数	うち 授	教	究指 教員			のみ担当)教員数		
83	7	6	7	'9		2			83	7(6	7	9		2		
[13]	[1	1]	[4	2]	[△24]			[13]	[1	1]	[4	2]	[△24]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、数員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1 名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足	2)	-(4)	設置時	の計画は	ं शंव	る数員	介足	玆
------------------------	----	------	-----	------	-------	-----	-----------	---

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の	担	当予定科目	後任	補充状	況	京	尤任辞追	₹ (未	就任)の理	由	
					必修	基礎	臨床医科学	既論	1							
					選択	高度第	高度先進医療実践学序論		1							
1	准教授	八木	邦公	R4. 3	必修	先端	医科学特别	研究	① R4. 3i			3退職の	ため	就任辞退(4)	
					選択	アドバ	ンスプラクティス	実習 I	1							
					選択	アドバン	ノスプラクティス総	合実習	1							
2	准教授	南部	寿則	R4. 3	選択	分	分子化学序論		1		R4.3退職のため就任辞退(4)		
-	准叙技	(ID (千)	对 则	N4. 3	必修	薬	薬科学特別研究		1		- N4. 3 区戦V/7.2 Ø7が11年詳22(4)					
3	助教	箭原	康人	R4. 3	選択	病	病態薬理学序論		1		DΛ	2:日酔の	トトト	就任辞退(4)	
3	助叙	削凉	康 人	N4. 3	選択	病	態薬理学特	論	1		N4.	3延戦0) (E &)	机甘矸 返(4)	
			合計	(D)						往	後任補充状況	の集計	(E)	1		
京	就任を辞	退した教	員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合言	十数(a))	②の合計	十数(b))	③の合計	十数 (c	;)
				必	修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選	択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	3		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ī	+	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の	担当	当予定科目	後任	補充状	況		話	辛任等	の理由			
					必須	社会	医学序部	À	1								
					必須	社会	会医学特部	À	1								
					選択	高度先進	医療実践学	持論	1								
					選択	救急	蘇生学序	論	1								
					選択	救急	蘇生学特	論	1								
1	准教授	若杉	雅浩	R4. 12	選択	災害危	機管理学	亨論	1		┃ R4.12退職のため(5)						
'	在 秋 1文	42 12	4E/D	114. 12	選択	災害危	機管理学	持論	1			114. 12,	区4成0.	77207 (3)			
					選択	救急	急看護演習	3	1								
					選択	アドバンス	、プラクティス 類	I TE	1								
					選択	アドバンス	くプラクティス 写	E習 I	1								
					選択	アドバンス	プラクティス総1	199	1								
					選択	クリティ	ィカル・ケア	特論	1								
2	講師	城宝	委司	R4. 12	必須		床医科学概	- 10.0	1			R4 12i	艮職σ)ため (5)			
	нани	7X-II	23 -3	111112	選択		科学特別		1				21900	77207 (07			
					選択		于動科学 原		1								
3	講師	古市	厚志	R5. 3	選択		于動科学 特		1			R5. 3追	退職の	ため (5)			
					選択		科学特別		1								
4	助教	竹内	勇一	R5. 3	選択		理病態学		1			R5.3i	退職の	ため (5)			
5	助教	NAWAZ	ALLHA	R4. 7	選択		薬理学序		1			R4. 7i	退職の	ため (5)			
	133334				選択	病態	薬理学特	論	1								
			合計	(F)						後	长任補充状況	の集計	(G))			
	辞任l	した教員数		担当科目	目数の合計	(a) + (b)) + (c)	①の合言	十数(a))	②の合計	十数(b))	③の合計	数	(c)	
				必	修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0)	科目
	選択			択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目	選択	0)	科目	
	5 人			自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0)	科目
	計 20				科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0)	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)				後任初	#充状況の集	計(E)+	(G)		
辞任等	した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)		
		必修	6	科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	23	科目	選択	23 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
8	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	29	科目	計	29 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- (注)・(3)-①、(3)-②で<mark>赤字</mark>で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	番 号 職 位 専任教員氏名 💩 🕸 · 選択 · 自由の別 担当予定利						後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
			該当なし												
	<u> </u>			計						後任補充物	犬況の負	集計			
	i	辞任	した教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)		②の合計	上数(b))	③の合計	】数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職する教員の担当科目は、他の専任教員が担当することとしている。また、シラバスや時間割等により教員交代について、学生には事前に周知しているため、特段の影響はないと考えている。

(注) · 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>**当該大学に付された指摘を</u></u>**

全で記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合医薬学研究科 総合医薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画 変更内容・状況、今後の見通しなど 取得可能な資格 看護科学プログラム (NPコース) は、令和4年度時点で厚 看護科学プログラムにおいて、次の民間資格の受験資 生労働省が指定する「特定行為研修指定研修機関」に必要 な要件をすべて満たすことができなかったことから、当該 格が取得可能である。 プログラムを修了しても、ナースプラクティショナー(NP) ナースプラティクショナー(NP) の受験資格を取得できない状態となっていた。 ①民間資格(日本NP教育大学院協議会)、②受験資格 本件については未充足の要件を満たすため、令和4年5月 が取得可能、③看護科学プログラム(修士課程)の修了 に厚生労働省に追加申請を行い、令和4年8月30日付で 要件単位に含まれる科目の履修 「特定行為研修指定研修機関」として承認・認定を受けた。 これにより、令和4年10月入学者からはNPの受験資格を 取得できるようになり、令和5年4月にはNPコースに 最初の学生を受け入れ、履修を進めている。 なお、令和4年4月入学に係る入試において、NPコースへ の出願者がいなかったことから、学生に不利益は生じて いない。

- (注) 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

F D 活動を中心とした教育内容改善のための組織的な研修については、総合医薬学研究科医学教務委員会、総合医薬学研究科看護学教務委員会及び総合医薬学研究科薬学教務委員会が主として所管するものであり、これら各教務委員会は大学院改組の令和4年4月1日に設置済みである。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和4年度における各教務委員会の開催状況について述べる。

総合医薬学研究科医学教務委員会を15回開催し、委員の出席率は平均約78%であった。 総合医薬学研究科看護学教務委員会を12回開催し、委員の出席率は平均約95%であった。 総合医薬学研究科薬学教務委員会を13回開催し、委員の出席率は平均約92%であった。

c 委員会の審議事項等

各教務委員会の審議事項は次のとおりである。教員の資質の維持向上は(4)に含まれる。

- (1)教務に関すること。
- (2) 学生生活に関すること。
- (3)入学者選抜に関すること。
- (4) その他学生の教育に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

大学院総合医薬学研究科全体でのFD活動は実施していないが、プログラムまたはプログラムの母体である学部学科においてそれぞれFD活動を実施した。なお、大学院総合医薬学研究科全体での教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)についてはこれから計画・審議する予定である。

b 実施方法

プログラムまたはプログラムの母体である学部においてそれぞれFD活動を実施した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

先端医科学プログラム

基礎組織である医学部医学科において、「教育の理解の共有」等をテーマに全三回の医学部医学科FDを実施した。 各回の参加状況は次のとおりである。

第1回:44人(オンライン形式) 第2回:45人(対面形式) 第3回:44人(対面形式)

<u>看護科学プログラム</u>

大学院総合医薬学研究科総合医薬学専攻看護科学プログラム及び医学薬学教育部看護学専攻FDとして12月27日 (火)に対面形式で「大学院で特定行為を受けることの意味」「大学院に特定行為をおくことの意義」について実施され、18人の参加があった。

基礎薬学プログラム

令和4年度薬学部・大学院薬学系部会FDとして8月19日(金)に大学院に関係する部分では「大学院教育における異分野融合の促進について」及び「大学院講義のあり方について」班別討議及び全体討論を行った。 大学院、学部合わせて64人の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD活動で得た知見を各教員が担当する授業内容の改善に活用している。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートについては改組前から取り組んできており、総合医薬学研究科においても実施している。 実施時期は各ターム末である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート結果は各教務委員会において報告され、今後の授業改善に活かされる予定である。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行うことで、令和4年4月に総合医薬学研究科総合医薬 学専攻を設置した。開設以降、教育活動は順調に行われていると考えており、引き続き、さらなる充実・発展を目指し ていきたい。

なお、人材養成目的や教育課程等に関する要点を記載した当該研究科のウェブサイトを新たに作成・公開し、学生等 への周知を図っている。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・令和4年度の自己点検・評価については、令和5年に実施し、令和5年11月に公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和5年11月に公開予定)

- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和6年度に認証評価機関による機関別認証評価を受審予定
 - (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
 - (5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告	書(令和5年度)				
а	a 公表予定の有無	[有	•	無	J		
b	a で「有」の場合≫ o 公表(予定)時期 c 公表方法	○調査結果公 ○ウェブサイ			・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 その他(公表後3ヶ月以降)]
≪ a	aで公表「無」の場合≫ H 公表しない理由	[)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。